

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		アトリエあいだく中野新橋		公表日		2025年3月1日		利用児童数	50人	回収数	20
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2	1	2		事業の指定基準を上回るスペースの確保をさせていただいてはありますが、引き続き、スペースを有効活用したり、時にはお出かけを企画したりし、出来るだけ伸び伸びと活動出来るようスペース確保の工夫を行っています。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2	0	2		事業の指定新基準の職員配置で対応しております。また、理学療法士や保育士はもちろん、アート面に専門的なスタッフも配置しております。			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	0	5		施設は1Fに位置しており、施設内に段差もないフラットな床面で、トイレやロッカー等にもそれぞれマークやイラストをつける等してわかりやすくなるよう工夫しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子どもの活動に合わせた空間になっていると思いますか。	16	1	0	3		生活空間内に空気清浄機(加湿・除湿機能付き)を2台設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	0	0	0		専門的な視点や知識について定期的に研修等も行ない、個別に最適なプログラムを提供できるよう工夫すると共に、ご意見やご要望に応じた柔軟な対応を心がけて支援を行っています。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	2		令和7年度までの支援プログラムの公表に向けて準備を進めております。			
	7	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	20	0	0	0		相談支援事業所と連携をとり、基本情報や児童の様子を基に、保護者とのお話や提出書類等も参考にし、理学療法士等の専門スタッフの視点も組み込みながら作成・見直しを行っています。			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	0	0		上記同様、それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		計画はもちろん意識しつつも、日々のことの変化や状態、状況等にも合わせながら、柔軟に支援を行なうようにしております。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2	0	0		絵画・イラスト・工作・書道・コンテスト応募など、色々な活動や季節を感じられるようなイベント、お出かけ等の場もより一層充実させ、提供できるように今後も工夫していきたいと思います。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	3	7	7		現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的には行っていませんが、今後、利用者様の意見も聞きながら必要に応じて取り入れていきます。			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1	0	0		見学時・初回利用時に利用に関する説明を行うと共に、利用開始時にはあいだく独自の利用ガイドを配布しております。			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0		計画は保護者の方にご確認・同意いただいております。日々の支援内容についても毎回報告し進捗や状況をご確認いただけるよう努めております。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	4	5	8		現在、家族支援の研修会等の実施は出来ておりませんが、個別でご家庭での困り事等のご相談への対応や情報提供等、行わせていただいております。どうぞお気軽にご相談ください。			

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1	0	0	日々の送迎や連絡メール、お電話、行事等に加え、面談等の際にも情報のやり取りをさせていただいております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	0	1	基本的には半年に1度の頻度で個別支援計画作成に向けて面談を行わせて頂いております。また、面談希望がある場合には、いつでも対応しておりますので、遠慮なくお申出下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1	0	0	それぞれのこどもの特性やその時の状況等も理解し、気持ちに寄り添い、共感を大切にしたい支援を心掛けております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	7	8	現在のところ、保護者会やきょうだい同士の交流のためのイベント等の開催はしておらず、必要な連絡等は個別に報告させていただいております。ただ、新型コロナウイルスの影響のため開催できていない期間もありましたが、年度末に展示会を開催しており、保護者の方向士でお話ができる機会の場にもなれば…と思っております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	4	0	3	窓口や解決責任者等は、「重要事項説明書」にて記載しております。迅速に対応いたしますので、遠慮せずにお申出下さい。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1	0	0	口頭・書面・電話・SNS・メールなどの様々な方法を利用して情報伝達手段を増やしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	4	今後もホームページ・SNS・ブログを有効に活用して情報を発信していく予定です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	2	Pマークも取得しており、メールディラーを使った誤送信防止の対策を講じ、個人資料は鍵付きの書庫での保管、PCへのパスワード設定等も行い、個人情報を含むものの管理には留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	0	3	各種マニュアルは、施設内で閲覧することが可能です。すぐ確認したい方は、施設来所時等職員へお声かけ下さい。また、防災対応につきまちは防災カードを制作して各ご家庭に配布し、流れをわかりやすく改良させていただきました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1	0	4	消防法の年2回実施義務を基準に171やX(旧twitter)を使い、保護者の方へも参加の案内をさせていただきながら、緊急時の連絡方法の確認や避難訓練等を随時行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	1	2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、避難訓練等も適切に行なうことで、安全確保の体制を整え、十分に配慮した上で支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	5	事故や怪我が発生した際には、速やかに保護者と連絡をとり、対応させていただいております。また、1日の様子の文章連絡は勿論、送迎時の引き渡しの際にも直接状況等ご説明させていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0	今後も、安心して通所していただけるよう、一人ひとりの様子を見守り、信頼関係を築きながらサポートしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	0	0	楽しんで過ごしていただけるように、引き続き試行錯誤して取り組みや環境整備の工夫を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1	0	0	利用者様やご家族の方々のご協力やご理解に支えていただき、日々事業所で支援を行ってゆくことができいております。本当にありがとうございます。引き続き、ご要望やご意見を積極的に取り入れ、より良い活動や支援を目指していきたいと思っております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アトリエあいだっく新中野

公表日 2025年3月1日

利用児童数

58名

回収数

29

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	6	2	4	長時間の利用を考えるともう少し広い方がと良い。	事業の指定基準を上回るスペースの確保をさせていただいてはありますが、引き続き、スペースを有効活用したり、時にはお出かけを企画したりし、出来るだけ伸び伸びと活動出来るようスペース確保の工夫を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	2		9	通所時の職員の人数を知らない。	事業の指定新基準の職員配置で対応しております。また、作業療法士や保育士はもちろん、アート面に専門的なスタッフも配置しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1		8		施設は3階にございますが、エレベーターを完備しています。施設内は段差のないフラットな床面となっております。イラストやマーク、写真などを活用し、視覚的に分かりやすくなるよう工夫しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	22	1		6		生活空間内に空気清浄機(加湿機能付き)を2台設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28			1		専門的な視点や知識について定期的に研修等も行ない、個別に最適なプログラムを提供できるよう工夫すると共に、ご意見やご要望に応じた柔軟な対応を心がけて支援を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1		3		令和7年度までの支援プログラムの公表に向けて準備を進めております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	29					相談支援事業所と連携をとり、基本情報や児童の様子を基に、保護者様とお話や提出書類等も参考にし、作業療法士等の専門スタッフの視点も組み込みながら作成・見直しを行っています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	3		3		上記同様、それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	2				計画はもちろん意識しつつも、日々のこどもの変化や状態、状況等にも合わせながら、柔軟に支援を行なうようにしております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	2		5	・長期休暇などに外出の機会を与えてくれると有難い。 ・可能であれば外遊びなどのプログラムを学校期間中にも取り入れてほしい。	絵画・イラスト・工作・書道等の創作活動を始め、パラアートやアートプロジェクトなどの外部コンテストにも積極的に応募しています。また、季節を感じられるようなイベント、お出かけ等の場もより一層充実させ、提供できるように今後も工夫していきたいと思っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	7	15	希望していないので現状に満足している。	現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的には行っていませんが、今後、利用者様の意見も聞きながら必要に応じて取り入れていきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29					見学时・初回利用時に利用についての説明を行うと共に、利用開始時にはあいだっく独自の利用ガイドを配布しております。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	2		6		計画は保護者の方にご確認・同意いただいております。日々の支援内容についても毎回報告し進捗や状況をご確認いただけるよう努めております。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	6	5	12		現在、家族支援の研修会等の実施は出来ておりませんが、個別でご家庭での困り事等のご相談への対応や情報提供等、行わせていただいております。どうぞお気軽にご相談ください。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	29					日々の送迎や連絡帳メール、お電話、行事等に加え、面談等の際にも情報のやり取りをさせていただいております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	3	1			基本的には半年に1度の頻度で個別支援計画作成に向けて面談を行わせて頂いております。また、面談希望がある場合には、いつでも対応しておりますので、遠慮なくお申出下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	2				・職員によって異なる。 それぞれのこどもの特性やその時の状況等も理解し、気持ちに寄り添い、共感を大切にした支援を心掛けております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	12	9		現在のところ、保護者やきょうだい同士の交流のためのイベント等の開催はしておらず、必要な連絡等は個別に報告させていただいております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	3		7		窓口や解決責任者等は、「重要事項説明書」にて記載しております。迅速に対応いたしますので、遠慮せずにお申出下さい。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	2				連絡帳をアプリ等で電子化してほしい。 口頭・書面・電話・SNS・メールなどの様々な方法を利用して情報伝達手段を増やしています。アプリ等の電子化につきましても、今後法人内で検討してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	4	2	7		今後もホームページ・SNS・ブログを有効に活用して情報を発信していく予定です。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	2		3		Pマークも取得しており、メールディレータを使った誤送信防止の対策を講じ、個人情報は鍵付きの書庫での保管、PCへのパスワード設定等も行い、個人情報を含むものの管理には留意しております。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	3		9		災害用伝言ダイヤルやSNSを使用した防災訓練を行っている。 各種マニュアルは、施設内で閲覧することが可能です。すぐ確認したい方は、施設来所時等職員へお声かけ下さい。また、防災対応につきましては防災カードを制作して各ご家庭に配布し、流れをわかりやすく改良させていただきました。 消防法の年2回実施義務を基準に171やX(旧twitter)を使い、保護者の方へも参加の案内をさせていただきながら、緊急時の連絡方法の確認や避難訓練等を随時行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18		1	10		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、避難訓練等も適切に行なうことで、安全確保の体制を整え、十分に配慮した上で支援を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1		7		事故や怪我が発生した際には、速やかに保護者と連絡をとり、対応させていただいております。また、1日の様子の文章連絡は勿論、送迎時の引き渡しの際にも直接状況等ご説明させていただいております。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	3		9		今後も、安心して通所していただけるよう、一人ひとりの様子を見守り、信頼関係を築きながらサポートしていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29					楽しんで過ごしていただけるように、引き続き試行錯誤して取り組みや環境整備の工夫を行ってまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28		1			とても良い施設を利用出来て大変満足している。 利用者様やご家族の方々のご協力やご理解に支えていただき、日々事業所で支援を行ってゆくことができております。本当にありがとうございます。引き続き、ご要望やご意見を積極的に取り入れ、より良い活動や支援を目指していきたいと思っております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29					



公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スタジオあいだっく					公表日	2025年 3月 1日	
		利用児童数	54名		回収数	32		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	4		4		事業の指定基準を上回るスペースの確保をさせていただいておりますが、引き続き、スペースを有効活用したり、時にはお出かけを企画したりし、出来るだけ伸び伸びと活動出来るようスペース確保の工夫を行っていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	2		7		事業の指定新基準の職員配置で対応しております。また、言語聴覚士や理学療法士、保育士はもちろん、ダンス面、音楽面に専門的なスタッフも配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2		8		施設内は段差もなくフラットな床面となっております。トイレのみ3cm程の段差がありますが、都度スタッフが見守られるよう配置に気を付けてながら支援をしております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1	1	6	換気が悪いか…と思いました	生活空間内に空気清浄機(加温付き)を設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	1		3		専門的な視点や知識について定期的に研修等も行ない、個別に最適なプログラムを提供できるよう工夫すると共に、ご意見やご要望に応じた柔軟な対応を心がけて支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	2		2		令和7年度までの支援プログラムの公表に向けて準備を進めております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30			2		相談支援事業所と連携をとり、基本情報や児童の様子を基に、保護者様のお話や提出書類等も参考に、言語聴覚士や理学療法士等の専門スタッフの視点も組み込みながら作成・見直しを行っています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	2		1		上記同様、それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	2				計画はもちろん意識しつつも、日々のこどもの変化や状態、状況等にも合わせながら、柔軟に支援を行なうようにしております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	1		1		活動は、歌唱や楽器演奏、ダンス、カップスを毎日ランダムにおこなっており、定期的に各内容も見直ししながら、新しいトレンドや技術を取り入れることで常に新鮮で効果的な活動を提供できるようにしています。更に、サーキット的な運動により、体幹、バランス感覚にもアプローチするセラピスト活動も取り入れ、子供たちにたくさんの楽しさを体験していただけるように努めています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	4	10	16		現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的には行っていませんが、今後、利用者様の意見も聞きながら必要に応じて取り入れていきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31			1		見学時・初回利用時に利用に関する説明を行うと共に、利用開始時にはあいだっく独自の利用ガイドを配布しております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	2	1	3		計画は保護者の方にご確認・同意いただいております。日々の支援内容についても毎回報告し進捗や状況をご確認いただけるよう努めております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	6	5	16		現在、家族支援の研修会等の実施は出来ておりませんが、個別でご家庭での困り事等のご相談への対応や情報提供等、行わせていただいております。どうぞお気軽にご相談ください。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	28	4			相談支援事業所あいだっくの担当者との面談はあります	日々の送迎や連絡帳メール、お電話、行事等に加え、面談の際にも情報のやり取りをさせていただいております。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	5		3	いつも親身になって相談を聞いて下さり衣、助かっています。	基本的には半年に1度の頻度で個別支援計画作成に向けて面談を行わせて頂いております。また、面談希望がある場合には、いつでも対応しておりますので、遠慮なくお申出下さい。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	2		2		それぞれのこどもの特性やその時の状況等も理解し、気持ちに寄り添い、共感を大切に支援を心掛けております。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	7	11	12	保護者同士の交流はここでは必要ないと思います。	現在のところ、保護者会やきょうだい同士の交流のためのイベント等の開催はしておらず、必要な連絡等は個別に報告させていただいておりますが、年度末に「あいだっくフェスタ」という日ごろの成果を発表する音楽発表会&卒業式にご家族を招いておりますので、交流の機会になれば…と思います。	
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	4		10	相談や申し入れをしていません。	窓口や解決責任者等は、「重要事項説明書」にて記載しております。迅速に対応いたしますので、遠慮せずにお申出下さい。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30			2		口頭・書面・電話・SNS・メールなどの様々な方法を利用して情報伝達手段を増やしています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	2	2	8	HP、SNSを見ないので…。	今後もホームページ・SNS・ブログを有効に活用して情報を発信していく予定です。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			1		Pマークも取得しており、メールフィルターを使った誤送信防止の対策を講じ、個人資料は鍵付きの書庫での保管、PCへのパスワード設定等も行い、個人情報を含むものの管理には留意しております。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30			1	1	・子どもの訓練はしていないので…	各種マニュアルは、施設内で閲覧することが可能です。すぐ確認したい方は、施設来所時等職員へお声かけ下さい。また、防災対応につきましては防災カードを制作して各ご家庭に配布し、流れをわかりやすく改良させていただきました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	4		1	4		消防法の年2回実施義務を基準に171やX(旧twitter)を使い、保護者の方へも参加の案内をさせていただきながら、緊急時の連絡方法の確認や避難訓練等を随時行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	3		1	3		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、避難訓練等も適切に行なうことで、安全確保の体制を整え、十分に配慮した上で支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	3		4			事故や怪我が発生した際には、速やかに保護者と連絡をとり、対応させていただいております。また、1日の様子の文章連絡は勿論、送迎時の引き渡しの際にも直接状況等ご説明させていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31	1					今後も、安心して通所していただけるよう、一人ひとりの様子を見守り、信頼関係を築きながらサポートしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	1		1		「今日はあいだっくだよ」と言うニコニコします。楽しく通所出来てありがたく感じています。とにかく楽しみにしています。活動、先生、お友達に会える事などが楽しく嬉しいようです。アトリエより広いのでまだ行く気がありそう。行けば楽しかったと帰ってくる。両施設ともとても楽しみに通わせていただいています。引き続きよろしくお願います。	楽しんで過ごしていただけるように、引き続き試行錯誤して取り組みや環境整備の工夫を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32					長期休暇中の開所時間がもう少し早いと助かります。現在は開所迄学童で過ごしています。	利用者様やご家族の方々のご協力やご理解に支えていただき、日々事業所で支援を行ってゆくことができいております。本当にありがとうございます。引き続き、ご要望やご意見を積極的に取り入れ、より良い活動や支援を目指していきたいと思っております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	パソコンあいだっく
------	-----------

公表日 2025年3月1日

利用児童数 58人

回収数 26

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	4		5		事業の指定基準を上回るスペースの確保をさせていただいてはありますが、引き続き、スペースを有効活用したり、時にはお出かけを企画したりし、出来るだけ伸び伸びと活動出来るようスペース確保の工夫を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1		4		事業の指定新基準の職員配置で対応しております。また、作業療法士や保育士も配置しており、児童経験が豊富な職員で構成しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	4		10		施設は7階にございますが、エレベーターを完備しております。室内には段差のないフラットな床面となっており、入り口付近等の段差については、必要に応じてスタッフが補助する形で配慮しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	2		4		生活空間内に空気清浄機(加湿機能付き)を設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26					専門的な視点や知識について定期的に研修等も行ない、個別に最適なプログラムを提供できるよう工夫すると共に、ご意見やご要望に応じた柔軟な対応を心がけて支援を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1		3		令和7年度までの支援プログラムの公表に向けて準備を進めております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25			1		相談支援事業所と連携をとり、基本情報や児童の様子を基に、保護者のお話や提出書類等も参考にし、作業療法士等の専門スタッフの視点も組み込みながら作成・見直しを行っています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1		1		上記同様、それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1				計画を意識しつつも、日々の子どもの変化や状態、状況に応じて、柔軟に支援を行うよう心がけています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1		2		パソコン活動だけでなく、自由時間の内容もさらに充実させ、お出かけの機会も増やし、より多様な体験を提供できるよう、今後も工夫していきたいと考えています。
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	10	11		現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的には行っていませんが、今後、利用者様の意見も聞きながら必要に応じて取り入れていきます。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1		1		見学時・初回利用時に利用に関する説明を行うと共に、利用開始時にはあいだっく独自の利用ガイドを配布しております。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	2				計画は保護者の方にご確認・同意いただいております。日々の支援内容についても毎回報告し進捗や状況をご確認いただけるよう努めております。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	8	8	7		現在、家族支援の研修会等の実施は出来ておりませんが、個別でご家庭での困り事等のご相談への対応や情報提供等、行わせていただいております。どうぞお気軽にご相談ください。	

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	24	2			日々の送迎や連絡帳メール、お電話、行事等に加え、面談等の際にも情報のやり取りをさせていただいております。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	4		3	基本的には半年に1度の頻度で個別支援計画作成に向けて面談を行わせて頂いております。また、面談希望がある場合には、いつでも対応しておりますので、遠慮なくお申出下さい。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	2			それぞれのこどもの特性やその時の状況等も理解し、気持ちに寄り添い、共感を大切にした支援を心掛けております。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	6	13	6	現在のところ、保護者会やきょうだい同士の交流のためのイベント等の開催はしておらず、必要な連絡等は個別に報告させていただいております。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1			4	窓口や解決責任者等は、「重要事項説明書」にて記載しております。迅速に対応いたしますので、遠慮せずにお申出下さい。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26					口頭・書面・電話・SNS・メールなどの様々な方法を利用して情報伝達手段を増やしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	3	1	4		今後もホームページ・SNS・ブログを有効に活用して情報を発信していく予定です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1			4	Pマークも取得しており、メールディレーラーを使った誤送信防止の対策を講じ、個人資料は鍵付きの書庫での保管、PCへのパスワード設定等も行い、個人情報を含むものの管理には留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18		1	7		各種マニュアルは、施設内で閲覧することが可能です。すぐ確認したい方は、施設来所時等職員へお声かけ下さい。また、防災対応につきましては防災カードを制作して各ご家庭に配布し、流れをわかりやすく改良させていただきました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19		1	6		消防法の年2回実施義務を基準に171やX(旧twitter)を使い、保護者の方へも参加の案内をさせていただきながら、緊急時の連絡方法の確認や避難訓練等を随時行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	2	1	2		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、避難訓練等も適切に行なうことで、安全確保の体制を整え、十分に配慮した上で支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1		3		事故や怪我が発生した際には、速やかに保護者と連絡をとり、対応させていただいております。また、1日の様子の文章連絡は勿論、送迎時の引き渡しの際にも直接状況等ご説明させていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26					今後も、安心して通所していただけるよう、一人ひとりの様子を見守り、信頼関係を築きながらサポートしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26					楽しんで過ごしていただけるように、引き続き試行錯誤して取り組みや環境整備の工夫を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26					利用者様やご家族の方々のご協力やご理解に支えていただき、日々事業所で支援を行ってゆくことができいております。本当にありがとうございます。引き続き、ご要望やご意見を積極的に取り入れ、より良い活動や支援を目指していきたいと思っております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		サッカーあいだっく		公表日		2025年3月1日		利用児童数		53人		回収数		20	
		チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応					
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		12	7	0	1			屋外の公園や公共施設等を利用しての活動を組み込んでおり、事業所も指定基準を上回るスペースの確保をさせていただいております。引き続き、スペースを有効活用できるよう意識すると共に、時にはお出かけを企画したりし、出来るだけ伸び伸びと活動出来るよう工夫していきます。					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		17	1	0	2	送迎の車内でのいざごさが気になります。		ご対面の際やお電話にて詳細をお伝えいたしましたが、説明が分かりにくく、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後もより分かりやすく丁寧な説明を心がけ、ご対面時やお電話でしっかりと内容をお伝えできるよう努めてまいります。お子様を安心してお預けいただける環境作りに尽力して参りますので、何かご不明な点やご不安な点がございましたら、いつでもお気軽にお申し付けくださいませ。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		14	2	0	4			施設は2Fに位置しており階段を使用しますが、支援員が必要な箇所補助する形で配慮を行っています。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		16	2	0	2			生活空間内に空気清浄機(加湿能付き)を2台設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		20	0	0	0			専門的な視点や知識について定期的に研修等も行ない、個別に最適なプログラムを提供できるよう工夫すると共に、ご意見やご要望に応じた柔軟な対応を心がけて支援を行っています。					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		20	0	0	0			令和7年度までの支援プログラムの公表に向けて準備を進めております。					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		20	0	0	0			相談支援事業所と連携をとり、基本情報や児童の様子を基に、保護者様のお話や提出書類等も参考にし、理学療法士等の専門スタッフの視点も組み込みながら作成・見直しを行っています。					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		19	0	0	1			上記同様、それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。		19	1	0	0			計画はもちろん意識しつつも、日々のこどもの変化や状態、状況にも合わせながら、柔軟に支援を行なうようにしております。					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		18	0	0	2			身体を動かすことを中心とした活動を行う中で、近隣の公園や施設等を活用するなどしながら、様々な活動を取り入れております。季節の行事と関連付けた、レクリエーション的な活動も実施しています。					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		3	3	6	8			現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的には行っていませんが、今後、利用者様の意見も聞きながら必要に応じて取り入れていきます。					
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		20	0	0	0			見学時・初回利用時に利用についての説明を行うと共に、利用開始時にはあいだっく独自の利用ガイドを配布しております。						



保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1	0	1		計画は保護者の方にご確認・同意いただいております。日々の支援内容についても毎回報告し進捗や状況をご確認いただけるよう努めております。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	1	11		現在、家族支援の研修会等の実施は出来ておりませんが、個別でご家庭での困り事等のご相談への対応や情報提供等、行わせていただいております。どうぞお気軽にご相談ください。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	0	0	1		活動後に落ちこんだりよくない気持ちのまま下所となった際にはいつも詳細状況を電話にて伝えて下さっています。	日々の送迎や連絡帳メール、お電話、行事等に加え、面談の際にも情報のやり取りをさせていただいております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	1	1		心配に思っていることも親身になって用談にのっていただきました。	基本的には半年に1度の頻度で個別支援計画作成に向けて面談を行わせて頂いております。また、面談希望がある場合には、いつでも対応しておりますので、遠慮なくお申し下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	1	0			それぞれのこどもの特性やその時の状況等も理解し、気持ちに寄り添い、共感を大切に支援を心掛けております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	5	7			現在のところ、保護者会やきょうだい同士の交流のためのイベント等の開催はしておらず、必要な連絡等は個別に報告させていただいております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1	0	1			窓口や解決責任者等は、「重要事項説明書」にて記載しております。迅速に対応いたしますので、遠慮せずにお申し下さい。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0			口頭・書面・電話・SNS・メールなどの様々な方法を利用して情報伝達手段を増やしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	1	5		ブログをいつも楽しみにしております。	今後もホームページ・SNS・ブログを有効に活用して情報を発信していく予定です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	1			Pマークも取得しており、メールアドレスを使った誤送信防止の対策を講じ、個人資料は鍵付きの書庫での保管、PCへのパスワード設定等も行い、個人情報を含むものの管理には留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	1	3			各種マニュアルは、施設内で閲覧することが可能です。すぐ確認したい方は、施設来所時等職員へお声がけ下さい。また、防災対応につきましては防災カードを制作して各ご家庭に配布し、流れをわかりやすく改良させていただきました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	1	5			消防法の年2回実施義務を基準に171やX(旧twitter)を使い、保護者の方へも参加の案内をさせていただきながら、緊急時の連絡方法の確認や避難訓練等を随時行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	3			事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、避難訓練等も適切に行なうことで、安全確保の体制を整え、十分に配慮した上で支援を行っております。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	3			事故や怪我が発生した際には、速やかに保護者と連絡をとり、対応させていただいております。また、1日の様子の文章連絡は勿論、送迎時の引き渡しの際にも直接状況等ご説明させていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0			今後も、安心して通所していただけるよう、一人ひとりの様子を見守り、信頼関係を築きながらサポートしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	0	0	0		いつも非常に楽しみにしております。	楽しんで過ごしていただけるように、引き続き試行錯誤して取り組みや環境整備の工夫を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0		文句なし。満足しています。	利用者様やご家族の方々のご協力やご理解に支えていただき、日々事業所で支援を行ってゆくことができいております。本当にありがとうございます。引き続き、ご要望やご意見を積極的に取り入れ、より良い活動や支援を目指していきたいと思っております。



公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	渋谷あいだっく					公表日	2025年 3月 1日		
						利用児童数	47名	回収数	21
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	4	1	1		事業の指定基準を上回るスペースの確保をさせていただいておりますが、引き続き、スペースを有効活用したり、時にはお出かけを企画したりし、出来るだけ伸び伸びと活動出来るようスペース確保の工夫を行っていきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1		2		事業の指定基準の職員配置で対応しております。また、理学療法士や臨床心理士等の専門的なスタッフも配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	2		2		施設は1Fに位置しており、施設内は段差も少なくフラットな床面となっております。トイレやキッチンの水回りのみ5cm程の段差があるため、都度スタッフが見守れるようスタッフ配置に気を付けながら支援をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	19	2		1		生活空間内に空気清浄機(加湿・除湿機能付き)を2台設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行っています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	2				専門的な視点や知識について定期的に研修等も行ない、個別に最適なプログラムを提供できるよう工夫すると共に、ご意見やご要望に応じた柔軟な対応を心がけて支援を行っています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			3	・支援プログラムの内容を把握していないが、報告メールでねらいは確認している。	令和7年度までの支援プログラムの公表に向けて準備を進めております。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					相談支援事業所と連携をとり、基本情報や児童の様子を基に、保護者様とお話や提出書類等も参考にし、理学療法士等の専門スタッフの視点も組み込みながら作成・見直しを行っています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18			3	・ガイドラインの内容を把握していない。	上記同様、それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					計画はもちろん意識しつつも、日々のこどもの変化や状態、状況等にも合わせながら、柔軟に支援を行なうようにしております。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	3			・日々の活動、夏休みのプログラムもとても考えていただいています。 ・外出の機会はとて有難く、子どもは楽しみにしています。	パソコン活動（月・火）、スタジオ活動（水・金）、アトリエ活動（木）となっています。各活動、個々の能力に合わせた内容や長期休みのイベント等、子どもたちが飽きないよう日々模索しながら活動を考えております。 また、スタジオ活動は、あいだっくフェスタに向けて練習を行うため、同じ曲を何度も繰り返すことがあります。その点につきましてはご理解頂ければと存じます。 今後も子どもたちが「あいだっく楽しみ」と思えるような活動内容を提供していきたいと思っています。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	4	4	11		現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的には行っていませんが、今後、利用者様の意見も聞きながら必要に応じて取り入れていきます。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20			1		見学時・初回利用時に利用に関しての説明を行うと共に、利用開始時にはあいだっく独自の利用ガイドを配布しております。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1				計画は保護者の方にご確認・同意いただいております。日々の支援内容についても毎回報告し進捗や状況をご確認いただけるよう努めております。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	6	1	9		現在、家族支援の研修会等の実施は出来ておりませんが、個別でご家庭での困り事等のご相談への対応や情報提供等、行わせていただいております。どうぞお気軽にご相談ください。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	20	1				日々の送迎や連絡帳メール、お電話、行事等に加え、面談等の際にも情報のやり取りをさせていただいております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	3	1	1		基本的には半年に1度の頻度で個別支援計画作成に向けて面談を行わせて頂いております。また、面談希望がある場合には、いつでも対応しておりますので、遠慮なくお申下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20				1	それぞれのこどもの特性やその時の状況等も理解し、気持ちに寄り添い、共感を大切に支援を心掛けております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	3	10		・特に必要性は感じていない。 現在のところ、保護者会やきょうだい同士の交流のためのイベント等の開催はしておらず、必要な連絡等は個別に報告させていただいておりますが、年度末に「あいだっくフェスタ」という音楽発表会&卒業式にご家族を招いて、日頃の成果を発表する機会を設けており、交流の機会になれば…と思っています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1			5	・不備がないので、申し入れをした事がないです。 窓口や解決責任者等は、「重要事項説明書」にて記載しております。迅速に対応いたしますので、遠慮せずにお申下さい。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21					口頭・書面・電話・SNS・メールなどの様々な方法を利用して情報伝達手段を増やしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2	2	3		今後もホームページ・SNS・ブログを有効に活用して情報を発信していく予定です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20				1	Pマークも取得しており、メールディラーを使った誤送信防止の対策を講じ、個人資料は鍵付きの書庫での保管、PCへのパスワード設定等も行い、個人情報を含むものの管理には留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	2			4	・子どもの訓練はしていないようにしたので… 各種マニュアルは、施設内で閲覧することが可能です。すぐ確認したい方は、施設来所時等職員へお声かけ下さい。また、防災対応につきましては防災カードを制作して各ご家庭に配布し、流れをわかりやすく改良させていただきました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1			8	消防法の年2回実施義務を基準に171やX(旧twitter)を使い、保護者の方へも参加の案内をさせていただきながら、緊急時の連絡方法の確認や避難訓練等を随時行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1			3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、避難訓練等も適切に行なうことで、安全確保の体制を整え、十分に配慮した上で支援を行っております。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16				5	事故や怪我が発生した際には、速やかに保護者と連絡をとり、対応させていただいております。また、1日の様子の文章連絡は勿論、送迎時の引き渡しの際にも直接状況等ご説明させていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21					今後も、安心して通所していただけるよう、一人ひとりの様子を見守り、信頼関係を築きながらサポートしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1				・いつも楽しく通わせていただいています。 楽しんで過ごしていただけるように、引き続き試行錯誤して取り組みや環境整備の工夫を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21					・満足しております。ありがとうございます。 ・いつも楽しく過ごしています。見守りカメラを見ると、いつもどなたかがそばで支えて下さりとても安心ですし、日々色々なイベントを計画していただき本当に感謝しかありません。色々なデイスーパーを見ましたが、あいだっくが一番いいところです。いつもありがとうございます。 利用者様やご家族の方々のご協力やご理解に支えていただき、日々事業所で支援を行ってゆくことができております。本当にありがとうございます。引き続き、ご要望やご意見を積極的に取り入れ、より良い活動や支援を目指していきたいと思っております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ブロックあいだっく
------	-----------

公表日 2025年3月1日

利用児童数 47名 回収数 26

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	4		1		事業の指定基準を上回るスペースを確保しており、その3分の2以上を活動スペースとしています。限られた空間の中で、目的別にスペースを区切り、より子供たちが活動しやすいようにレイアウトや棚・机の位置や形状にも配慮しています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	2		5		事業の指定新基準の職員配置で対応しております。また、作業療法士や保育士などの専門的なスタッフも配置しております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1		5		施設は2Fに位置しており階段を使用しますが、設置された手すりも使いながら支援員が、必要な個所で補助する形で配慮を行っています。施設内は段差もないフラットな床面で、トイレや必要な箇所にもそれぞれマークやイラストをつける等してわかりやすくなるよう工夫しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22				4		生活空間内に空気清浄機(加湿機能付き)を設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	1				専門的な視点や知識について定期的に研修等も行ない、個別に最適なプログラムを提供できるよう工夫すると共に、ご意見やご要望に応じた柔軟な対応を心がけて支援を行っています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	2				令和7年度までの支援プログラムの公表に向けて準備を進めております。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	1				相談支援事業所と連携をとり、基本情報や児童の様子を基に、保護者とお話や提出書類等も参考にし、作業療法士等の専門スタッフの視点も組み込みながら作成・見直しを行っています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1			2		上記同様、それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1					計画はもちろん意識しつつも、日々のこどもの変化や状態、状況等にも合わせながら、柔軟に支援を行なうようにしております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	2				2か所とも日々の活動、夏休みのプログラムもとても考えていただいています。	工作・レク・調理などの活動の中で、課題にするものや材料や道具に様々なものを取り入れながら活動を組み立てていき、提案しています。内容も季節ごとやテーマごとに変化をつけつつ、固定化しないように気を付けています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	2	15			現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的には行っていませんが、今後、利用者様の意見も聞きながら必要に応じて取り入れていきます。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	1					見学時・初回利用時に利用についての説明を行うと共に、利用開始時にはあいだっく独自の利用ガイドを配布しております。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	1					計画は保護者の方にご確認・同意いただいております。日々の支援内容についても毎回報告し進捗や状況をご確認いただけるよう努めております。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	3	15		現在、家族支援の研修会等の実施は出来ておりませんが、個別でご家庭での困り事等のご相談への対応や情報提供等、行わせていただいております。どうぞお気軽にご相談ください。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	24	1		1		日々の送迎や連絡帳メール、お電話、行事等に加え、面談等の際にも情報のやり取りをさせていただいております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1		3		基本的には半年に1度の頻度で面談を行わせて頂いております。また、面談希望がある場合には、いつでも対応しておりますので、遠慮なくお申出下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1		2		それぞれのこどもの特性やその時の状況等も理解し、気持ちに寄り添い、共感を大切にした支援を心掛けております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	6	12		現在のところ、保護者会やきょうだい同士の交流のためのイベント等の開催はしておらず、必要な連絡等は個別に報告させていただいております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20		1	5	不満がないので申し入れをしたことがないです。	窓口や解決責任者等は、「重要事項説明書」にて記載しております。迅速に対応いたしますので、遠慮せずにお申出下さい。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1		3		口頭・書面・電話・SNS・メールなどの様々な方法を利用して情報伝達手段を増やしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	1		6		今後もホームページ・SNS・ブログを有効に活用して情報を発信していく予定です。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25			1		Pマークも取得しており、メールアドレスを使った誤送信防止の対策を講じ、個人資料は鍵付きの書庫での保管、PCへのパスワード設定等も行い、個人情報を含むものの管理には留意しております。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23			3	子どもの訓練はしていないようでしたので	各種マニュアルは、施設内で閲覧することが可能です。すぐ確認したい方は、施設来所時等職員へお声かけ下さい。また、防災対応につきましては防災カードを制作して各ご家庭に配布し、流れをわかりやすく改良させていただきました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			8	災害伝言ダイヤルの練習はありましたが、事業所が崩壊した場合の広域避難場所や引き取り訓練の説明があれば参加したいと思いました。	消防法の年2回実施義務を基準に171やX(Jitter)を使い、保護者の方へも参加の案内をさせていただきながら、緊急時の連絡方法の確認や避難訓練等を随時行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23			3		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、避難訓練等も適切に行なうことで、安全確保の体制を整え、十分に配慮した上で支援を行っております。
満足度	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23			3		事故や怪我が発生した際には、速やかに保護者と連絡をとり、対応させていただいております。また、1日の様子の文章連絡は勿論、送迎時の引き渡しの際にも直接状況等ご説明させていただいております。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26					今後も、安心して通所していただけるよう、一人ひとりの様子を見守り、信頼関係を築きながらサポートしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26					楽しんで過ごしていただけるように、引き続き試行錯誤して取り組みや環境整備の工夫を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26				渋谷、ブロックを利用しています。いつも楽しく過ごしています。見守りカメラを見るといつもどなたかがそばで支えてくださり、とても安心です。日々いろいろなイベントを計画していただき本当に感謝しかありません。色々なデイサービスを見て回りましたが、あいだくさんが一番いいところですよ。いつもありがとうございます。	利用者様やご家族の方々のご協力やご理解に支えていただき、日々事業所で支援を行ってゆくことができいております。本当にありがとうございます。引き続き、ご要望やご意見を積極的に取り入れ、より良い活動や支援を目指していきたいと思っております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	アトリエあいだっく川崎				公表日	2025年 3月 1日		
		利用児童数	40名		回収数	20		
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1	3		事業の指定基準を上回るスペースの確保をさせていただいてはありますが、引き続き、スペースを有効活用したり、時にはお出かけを企画したりし、出来るだけ伸び伸びと活動出来るようスペース確保の工夫を行っていきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2	1	4	送りの時のスタッフ乗車 二人体制のほうが良いかなと思います。	事業の指定基準の職員配置で対応しております。また、理学療法士や保育士、臨床心理士等の専門スタッフやアート面に強いスタッフも配置しております。送迎につきましては必要に応じて、2名で対応させていただいております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2		4	現段階では車椅子ユーザーの児童生徒は利用しやすいかどうか、重度の児童生徒が利用しやすいかわからない。	施設は1Fに位置しており、施設内は段差のないフラットな床面となっております。また、イラストやマーク、写真などを活用し、視覚的に分かりやすくなるよう工夫しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17			3		生活空間内に空気清浄機(加湿機能付き)を設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					専門的な視点や知識について定期的に研修等も行ない、個別に最適なプログラムを提供できるよう工夫すると共に、ご意見やご要望に応じた柔軟な対応を心がけて支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			1		令和7年度までの支援プログラムの公表に向けて準備を進めております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	14					療育センターや相談支援事業所と連携をとり、基本情報や児童の様子を基に、保護者様のお話や提出書類等も参考にし、作業療法士等の専門スタッフの視点も組み込みながら作成・見直しを行っています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			1	(移行支援)は、まだだいぶ先かと思われる。事前にアンケートを頂き(家族支援)それに基づいた本人支援を考えて頂いている	上記同様、それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13			1		計画はもちろん意識しつつも、日々のこどもの変化や状態、状況等にも合わせながら、柔軟に支援を行なうようにしております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1		2		絵画・イラスト・工作・書道・コンテスト応募など、色々な活動や季節を感じられるようなイベント、お出かけ等の場もより一層充実させ、提供できるように今後も工夫していきたいと思っております。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	4	7	直接的交流はないけれど、ガイドラインに示されている社会経験は満たされている。(夏休みの外出など)	現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的には行っていませんが、今後、利用者様の意見も聞きながら必要に応じて取り入れていきます。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	2				見学時・初回利用時に利用についての説明を行うと共に、利用開始時にはあいだっく独自の利用ガイドを配布しております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19			1		計画は保護者の方にご確認・同意いただいております。日々の支援内容についても毎回報告し進捗や状況をご確認いただけるよう努めております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3	3	5	ごまめに相談にはのっていただいている。「ペアトレ」は受けたことがない。家での支援が情報のつぎはぎになっているかも、という不安を感じる	現在、家族支援の研修会等の実施は出来ておりませんが、個別でご家庭での困り事等のご相談への対応や情報提供等、行わせていただいております。どうぞお気軽にご相談ください。



保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	19	1				日々の送迎や連絡帳メール、お電話、行事等に加え、面談等の際にも情報のやり取りをさせていただいております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	2				基本的には半年に1度の頻度で個別支援計画作成に向けて面談を行わせて頂いております。また、面談希望がある場合には、いつでも対応しておりますので、遠慮なくお申下下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	2				それぞれのこどもの特性やその時の状況等も理解し、気持ちに寄り添い、共感を大切にした支援を心掛けております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	5	6	4	保護者同士で事業所で交流することはあまりない。自発や近所、学校で知り合った保護者同士で励まし合い生活している	現在のところ、保護者会やきょうだい同士の交流のためのイベント等の開催はしておらず、必要な連絡等は個別に報告させていただいております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	3		2		窓口や解決責任者等は、「重要事項説明書」にて記載しております。迅速に対応いたしますので、遠慮せずにお申下下さい。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					口頭・書面・電話・SNS・メールなどの様々な方法を利用して情報伝達手段を増やしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16			4		今後もホームページ・SNS・ブログを有効に活用して情報を発信していく予定です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1		2		Pマークも取得しており、メールディーラーを使った誤送信防止の対策を講じ、個人資料は鍵付きの書庫での保管、PCへのパスワード設定等も行い、個人情報を含むものの管理には留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1		2	防災訓練はよく行っていただいている。その他はあまり伺ったことはない。	各種マニュアルは、施設内で閲覧することが可能です。すぐ確認したい方は、施設来所時等職員へお声かけ下さい。また、防災対応につきましては防災カードを制作して各ご家庭に配布し、流れをわかりやすく改良させていただきました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15			5		消防法の年2回実施義務を基準に171やX(旧Twitter)を使い、保護者の方へも参加の案内をさせていただきながら、緊急時の連絡方法の確認や避難訓練等を随時行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1		2		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、避難訓練等も適切に行なうことで、安全確保の体制を整え、十分に配慮した上で支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	3		2		事故や怪我が発生した際には、速やかに保護者と連絡をとり、対応させていただいております。また、1日の様子の文章連絡は勿論、送迎時の引き渡しの際にも直接状況等ご説明させていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	2				今後も、安心して通所していただけるよう、一人ひとりの様子を見守り、信頼関係を築きながらサポートしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	2				楽しんで過ごしていただけるように、引き続き試行錯誤して取り組みや環境整備の工夫を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	2				利用者様やご家族の方々のご協力やご理解に支えていただき、日々事業所で支援を行ってゆくことができいております。本当にありがとうございます。引き続き、ご要望やご意見を積極的に取り入れ、より良い活動や支援を目指していきたいと思っております。



事業所名	スタジオあいだっく川崎
------	-------------

公表日 2025年 3月 1日

利用児童数

36名

回収数

26

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25			1	ダンスが出来る広さはあると思います。	サッカー活動については屋外のフットサルコート借りて伸び伸びと行える環境を整えています。室内についても、事業の指定基準を上回るスペースの確保をさせていただいてはおり、スペースを有効活用する工夫を行っています。時にはお出かけを企画する等の工夫も行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	2		6	職員数は適切だと思う。	事業の指定新基準の職員配置で対応しております。また、理学療法士などの専門的なスタッフも配置しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2		9		施設は1階にありバリアフリー化に対応しています。また支援員が、必要な個所で補助する形で配慮を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21			5	清潔で掃除も行き届いていると思う。	業務終了後の清掃を欠かさず行って清潔を保ち、限られた空間の中で、目的別にスペースを区切り、より子供たちが活動しやすいようにレイアウトや棚・机の位置や形状にも配慮しています。
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	3		3		専門的な視点や知識について定期的に研修等も行ない、個別に最適なプログラムを提供できるよう工夫すると共に、ご意見やご要望に応じた柔軟な対応を心がけて支援を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1		5		令和7年度までの支援プログラムの公表に向けて準備を進めております。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1		2		療育センターや相談支援事業所と連携をとり、基本情報や児童の様子を基に、保護者のお話や提出書類等も参考にし、理学療法士などの専門スタッフの視点も組み込みながら作成・見直しを行っています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1		2		上記同様、それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23			3		計画はもちろん意識しつつも、日々の子どもの変化や状態、状況等にも合わせながら、柔軟に支援を行なうようにしております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2		4	長期期間中のプログラムは本人が楽しみにしています。	通常活動に加え、季節イベントや長期休暇には、外出や調理、特別活動などを行っております。より一層充実した活動を提供できるように今後も工夫していきたいと思っております。
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	2	7	10		現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的には行っていませんが、今後、利用者様の意見も聞きながら必要に応じて取り入れていきます。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	3				見学時・初回利用時に利用に関する説明を行うと共に、利用開始時にはあいだっく独自の利用ガイドを配布しております。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24			2		計画は保護者の方にご確認・同意いただいております。日々の支援内容についても毎回報告し進捗や状況をご確認いただけるよう努めております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	4	4	6		現在、家族支援の研修会等の実施は出来ておりませんが、個別でご家庭での困り事等のご相談への対応や情報提供等、行わせていただいております。どうぞお気軽にご相談ください。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	3		1		日々の送迎や連絡帳メール、お電話、行事等に加え、面談等の際にも情報のやり取りをさせていただいております。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	2		2	基本的には半年に1度の頻度で個別支援計画作成に向けて面談を行わせて頂いております。また、面談希望がある場合には、いつでも対応しておりますので、遠慮なくお申下下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	3		3	それぞれのこどもの特性やその時の状況等も理解し、気持ちに寄り添い、共感を大切に支援を心掛けております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	5	14	現在のところ、保護者会やきょうだい同士の交流のためのイベント等の開催はしておらず、必要な連絡等は個別に報告させていただいております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1		7	窓口や解決責任者等は、「重要事項説明書」にて記載しております。迅速に対応いたしますので、遠慮せずにお申下下さい。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25			1	口頭・書面・電話・SNS・メールなどの様々な方法を利用して情報伝達手段を増やしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13		1	12	今後もホームページ・SNS・ブログを有効に活用して情報を発信していく予定です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	2	1	5	Pマークも取得しており、メールディレーラーを使った誤送信防止の対策を講じ、個人資料は鍵付きの書庫での保管、PCへのパスワード設定等も行い、個人情報を含むものの管理には留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	1	5	各種マニュアルは、施設内で閲覧することが可能です。すぐ確認したい方は、施設来所時等職員へお声かけ下さい。また、防災対応につきましては防災カードを制作して各ご家庭に配布し、流れをわかりやすく改良させていただきました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	2		7	消防法の年2回実施義務を基準に171やX( @twitter)を使い、保護者の方へも参加の案内をさせていただきながら、緊急時の連絡方法の確認や避難訓練等を随時行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20		1	5	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、避難訓練等も適切に行なうことで、安全確保の体制を整え、十分に配慮した上で支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	3		6	事故や怪我が発生した際には、速やかに保護者と連絡をとり、対応させていただいております。また、1日の様子の文章連絡は勿論、送迎時の引き渡しの際にも直接状況等ご説明させていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	1		1	今後も、安心して通所していただけるよう、一人ひとりの様子を見守り、信頼関係を築きながらサポートしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	2		1	楽しんで過ごしていただけるように、引き続き試行錯誤して取り組みや環境整備の工夫を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	2		1	利用者様やご家族の方々のご協力やご理解に支えていただき、日々事業所で支援を行ってゆくことができております。本当にありがとうございます。引き続き、ご要望やご意見を積極的に取り入れ、より良い活動や支援を目指していきたいと思っております。

事業所名	パソコンあいだっく川崎
------	-------------

公表日 2025年 3月 1日

利用児童数 53名 回収数 31

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	1		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン以外の活動（モルックなど）ができていますので、スペースは十分にあると思う。</li> <li>・もう少し広い教室でも良いかと思いません。大きい子が多いので。</li> </ul>	<p>事業の指定基準を上回るスペースの確保をさせていただいてはありますが、引き続き、スペースを有効活用したり、時にはお出かけを企画したりし、出来るだけ伸び伸びと活動出来るようスペース確保の工夫を行っていきます。</p> <p>・パソコン活動に必要なスペースは確保しております。イベント等を行う時には机を寄せるなどの工夫を行い、スペースの有効活用しております。</p>	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27		2	2		<p>事業の指定新基準の職員配置に対応しております。また、言語聴覚士やパソコンに詳しいスタッフも配置しております。</p>	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	3	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物置き棚などきちんと設置されており、子供もわかりやすくなっている。</li> <li>・建物が古いのが気になります。</li> </ul>	<p>当事業所は2階にあり、階段にスロープ等はありませんが非常用階段ではなく、住民の方が通常使用している一般的な階段になります。怪我をしている時や、装具を着ているお子さんの場合はエレベーターも使用できます。 ※車いすの方の受け入れは行っておりませんので、予めご了承ください。</p> <p>・建物（マンション）は新しくはありませんが、管理会社による点検等が定期的に入っておりますので、ご安心いただけたら幸いです。</p>	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	2		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン活動とそれ以外の活動ができるスペースが確保されていると思う。</li> </ul>	<p>生活空間内に空気清浄機(加湿機能付き)を2台設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っております。</p>	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30			1		<p>専門的な視点や知識について定期的に研修等も行ない、個別に最適なプログラムを提供できるよう工夫すると共に、ご意見やご要望に応じた柔軟な対応を心がけて支援を行っています。</p>	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	1		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画編集とかもやってほしい。</li> </ul>	<p>令和7年度までの支援プログラムの公表に向けて準備を進めております。</p>	
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31					<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な面談も行われていて、こちらのニーズに沿った計画内容になっている。</li> </ul>	<p>療育センターや相談支援事業所と連携をとり、基本情報や児童の様子を基に、保護者とお話や提出書類等も参考にし、言語聴覚士等の専門スタッフの視点も組み込みながら作成・見直しを行っています。</p>
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31					<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の悩みをよく聞いてくださり、それに見合った支援活動を組み込んでくださいます。</li> </ul>	<p>上記同様、それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。</p>
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31					<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールで送られてくるあいだっく連絡帳を見る限り、設定されている支援内容は、おおむね行われていると思う。</li> </ul>	<p>計画はもちろん意識しつつも、日々の子どもの変化や状態、状況等にも合わせながら、柔軟に支援を行なうようにしております。</p>

10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31				1	・同じことばかりでなく、新しいことなども取り入れたりして、工夫されている。	それぞれの興味に合わせて個別活動を中心に提供していますが、全体活動の時間もございます。楽しみながらパソコンの技術が身に付くよう工夫しています。長期休暇には、季節イベントや外出イベントも行ってあります。より一層充実した活動を提供できるように今後も工夫していきたいと思っています。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	10	11	・なかなか難しいとは思いますが、他の子どもとの交流機会があったら良いなと思います。 ・違う学校や学年の子とふれあえて良いです。	現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的には行っていませんが、今後、利用者様の意見も聞きながら必要に応じて取り入れていきます。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	3				見学时・初回利用時に利用についての説明を行うと共に、利用開始時にはあいだく独自の利用ガイドを配布しております。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1				計画は保護者の方にご確認・同意いただいております。日々の支援内容についても毎回報告し進捗や状況をご確認いただけるよう努めております。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	6	7	13	・今後もオンラインなどで参加できるものがあたら、お願いしたい。	現在、家族支援の研修会等の実施は出来ておりませんが、個別でご家庭での困り事等のご相談への対応や情報提供等、行わせていただいております。どうぞお気軽にご相談ください。 ・オンラインプログラム等も引き続き検討し、提供時にはお知らせいたしますのでよろしくお願いたします。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	27	2			・メールや送迎時に少しですが話すことで、ある程度できていると思う。 ・気になる事を問い合わせると丁寧に対処してくださいます。日報のメールも楽しみです。	日々の送迎や連絡帳メール、お電話、行事等に加え、面談等の際にも情報のやり取りをさせていただいております。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	3			1	・面談時に専門スタッフから助言等をもらえた。	基本的には半年に1度の頻度で個別支援計画作成に向けて面談を行わせて頂いております。また、面談希望がある場合には、いつでも対応しておりますので、遠慮なくお申下下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28					・子どもの好きな物に着目していただき、上手に指導して下さっています。	それぞれのこどもの特性やその時の状況等も理解し、気持ちに寄り添い、共感を大切にした支援を心掛けております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	5	9	12			現在のところ、保護者会やきょうだい同士の交流のためのイベント等の開催はしておらず、必要な連絡等は個別に報告させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	3			1		窓口や解決責任者等は、「重要事項説明書」にて記載しております。迅速に対応いたしますので、遠慮せずにお申下下さい。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28						口頭・書面・電話・SNS・メールなどの様々な方法を利用して情報伝達手段を増やしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	1	2	5			今後もホームページ・SNS・ブログを有効に活用して情報を発信していく予定です。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26				2		Pマークも取得しており、メールディラーを使った誤送信防止の対策を講じ、個人情報は鍵付きの書庫での保管、PCへのパスワード設定等も行い、個人情報を含むものの管理には留意しております。	

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	1	1	2	・災害用伝言ダイヤルの操作訓練は今後もやってもらいたい。	各種マニュアルは、施設内で閲覧することが可能です。すぐ確認したい方は、施設来所時等職員へお声かけ下さい。また、防災対応につきましては防災カードを制作して各ご家庭に配布し、流れをわかりやすく改良させていただきました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23		1	4		消防法の年2回実施義務を基準に171やX(旧twitter)を使い、保護者の方へも参加の案内をさせていただきながら、緊急時の連絡方法の確認や避難訓練等を随時行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	26		1	1		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、避難訓練等も適切に行なうことで、安全確保の体制を整え、十分に配慮した上で支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	19	2		7		事故や怪我が発生した際には、速やかに保護者と連絡をとり、対応させていただいております。また、1日の様子の文章連絡は勿論、送迎時の引き渡しの際にも直接状況等ご説明させていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28					今後も、安心して通所していただけるよう、一人ひとりの様子を見守り、信頼関係を築きながらサポートしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンだけでなく、色々なイベントもあるため、楽しんでいます。</li> <li>・基本的に家が好きな為（どちらともいえない）</li> <li>・通所をとっても楽しみにしています。</li> <li>・今日は何しようか楽しみながら行っています。</li> <li>・あいだっくに行く曜日は、学校にも喜んで行っています。</li> </ul>	楽しんで過ごしていただけるように、引き続き試行錯誤して取り組みや環境整備の工夫を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28				<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画支援に沿って活動も行われていると思うので、満足している。</li> <li>・分からない事など、丁寧に教えてくださっています。</li> <li>・とても丁寧に対応してくださり、感謝しています。ありがとうございます。</li> </ul>	利用者様やご家族の方々のご協力やご理解に支えていただき、日々事業所で支援を行ってゆくことができいております。本当にありがとうございます。引き続き、ご要望やご意見を積極的に取り入れ、より良い活動や支援を目指していきたいと思っております。

事業所名	サッカーあいだっく川崎
------	-------------

公表日 2025年 3月 1日

利用児童数 61名 回収数 39

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	4	0	6		基本的には屋外のフットサル場を借りて伸び伸びと活動できるようにしております。施設内につきましても、事業の指定基準を上回るスペースの確保をさせていただいてはおり、スペースを有効活用出来るよう工夫しております。また、お出かけの企画等も適宜行っております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35	1	0	3		事業の指定新基準の職員配置で対応しております。また、作業療法士の専門スタッフやサッカー経験のある職員等の配置をしております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	3	0	11		施設は1Fに位置しており段差なく室内に入室して頂けます。施設内にはフロアマットを設置しており若干の段差がございます。また、キッチンやトイレ入口に段差がある為、スタッフが必要に応じて補助に入れるよう配慮しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	3	1	8		生活空間内に空気清浄機(加湿機能付き)を2台設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	1	0	3		専門的な視点や知識について定期的に研修等も行ない、個別に最適なプログラムを提供できるよう工夫すると共に、ご意見やご要望に応じた柔軟な対応を心がけて支援を行っております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	38	0	0	1		令和7年度までに支援プログラムの公表できるよう準備を進めております。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	39	0	0	0		療育センターや相談支援事業所とも連携をとり、基本情報や児童の様子を基に、保護者とのお話や提出書類等も参考にし、作業療法士の専門スタッフの視点も組み込みながら作成・見直しを行っております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	38	1	0	0		上記同様、それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	39	0	0	0		計画はもちろん意識しつつも、日々の子どもの変化や状態、状況等にも合わせながら、柔軟に支援を行なうようにしております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	0	0	4		サッカー活動の中でもミニゲーム要素を入れながら児童が楽しく活動が出来るようにプログラムを構成し、色々な活動や季節を感じられるようなイベント、お出かけ等の場もより一層充実させ、提供できるように今後も工夫していきたいと思っております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	18	3	8	10		現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的には行っていませんが、今後、利用者様の意見も聞きながら必要に応じて取り入れていきます。



保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	2	0	0	見学时・初回利用時に利用についての説明を行うと共に、利用開始時にはあいだく独自の利用ガイドを配布しております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	2	0	0	計画は保護者の方にご確認・同意いただいております。日々の支援内容についても毎回報告し進捗や状況をご確認いただけるよう努めております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	7	0	16	現在、家族支援の研修会等の実施は出来ておりませんが、個別でご家庭での困り事等のご相談への対応や情報提供等、行わせていただいております。どうぞお気軽にご相談ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	38	1	0	0	日々の送迎や連絡帳メール、お電話、行事等に加え、面談の際にも情報のやり取りをさせていただいております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37	1	0	1	基本的には半年に1度の頻度で個別支援計画作成に向けて面談を行わせて頂いております。また、面談希望がある場合には、いつでも対応しておりますので、遠慮なくお申下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	39	0	0	0	それぞれのこどもの特性やその時の状況等も理解し、気持ちに寄り添い、共感を大切にした支援を心掛けております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	7	9	16	現在のところ、保護者会やきょうだい同士の交流のためのイベント等の開催はしており、必要連絡等は個別に報告させていただいております。ただ、東京との試合やあいだく全体でのイベント等を開催しており、保護者の方向士でお話ができる機会の場にもなれば…と思っております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	0	0	6	・基本的には家が好き ・中学生になると下校時間が遅くなり、スタッフと話せるタイミングが分からなくなるようなので、高校生以降の子ども話せるような工夫をお願いしたい
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	0	0	3	窓口や解決責任者等は、「重要事項説明書」にて記載しております。迅速に対応いたしますので、遠慮せずにお申下さい。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	31	5	0	3	今後もホームページ・SNS・ブログを有効に活用して情報を発信していく予定です。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	3	0	2	Pマークも取得しており、メールアドレスを使った誤送信防止の対策を講じ、個人情報は鍵付きの書庫での保管、PCへのパスワード設定等も行い、個人情報を含むものの管理には留意しております。	
非 常 時 等	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	2	0	4	各種マニュアルは、施設内で閲覧することが可能です。すぐ確認したい方は、施設来所時等職員へお声かけ下さい。また、防災対応につきましては防災カードを制作して各ご家庭に配布し、流れをわかりやすく改良させていただきました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	1	0	6	消防法の年2回実施義務を基準に171やX(旧twitter)を使い、保護者の方へも参加の案内をさせていただきながら、緊急時の連絡方法の確認や避難訓練等を随時行っております。

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	1	0	3		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、避難訓練等も適切に行なうことで、安全確保の体制を整え、十分に配慮した上で支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	2	0	5		事故や怪我が発生した際には、速やかに保護者と連絡をとり、対応させていただいております。また、1日の様子の文章連絡は勿論、送迎時の引き渡しの際にも直接状況等ご説明させていただいております。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	37	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても信頼できる事業所だと感じている</li> <li>・通所をとても楽しみにしています</li> </ul>	今後も、安心して通所していただけるよう、一人ひとりの様子を見守り、信頼関係を築きながらサポートしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32	5	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には家が好き</li> <li>・親子共に安心してお世話になってます</li> </ul>	楽しんで過ごしていただけるように、引き続き試行錯誤して取り組みや環境整備の工夫を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	39	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18歳で卒業するまで通いたいと思います</li> </ul>	利用者様やご家族の方々のご協力やご理解に支えていただき、日々事業所で支援を行ってゆくことができいております。本当にありがとうございます。引き続き、ご要望やご意見を積極的に取り入れ、より良い活動や支援を目指していきたいと思っております。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		アトリエあいだっく中野新橋		公表日		2025年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		事業の指定基準を十分上回るスペースの確保をさせていただいてはありますが、さらに、家具の配置や折り畳み式の机、収納しやすい椅子などの工夫で、場面に合わせたスペースの確保を出来るようにしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		事業の新基準にあわせた職員体制で対応しており、活動に合わせ、絵画等に特化したスタッフや理学療法士、保育士等の専門スタッフも配置し、専門性の高い療育、活動を提供出来るように工夫しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		施設は1Fに位置しており、施設内に段差もない状況で、トイレやロッカー等にもそれぞれマークやイラストをつける等してわかりやすくなるよう工夫しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	○		生活空間内に空気清浄機(加湿・除湿機能付き)を2台設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		大部屋とは別に面談室を準備しており、必要に応じて使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		計画・実行・評価・改善を基本に、ミーティング等を活用しながら日々業務改善を図っています。情報収集や拡散には、メールやプリントを活用し速やかに業務が遂行できるようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年保護者向けの評価表の配布・回収・集計・公表を行なっており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		上記同様、毎年事業所向けの評価表をスタッフに配布し、回収・集計・公表を行なっており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現状第三者による外部評価は行なっていませんが、実地調査や更新時の調査で指摘された点については改善しています。	現状、第三者による外部評価は行っていないこと。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		他施設と合同での不定期での大きな研修に加え、毎日の自施設内でのミーティングにて、基本的業務確認のみではなく、障害特性や児童とのかかわり方等、持続性があり効果的な方法で研修が行えるよう心掛けています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	年度末に公表できるよう準備を進めております。	現時点ではまだ公表出来ていないこと。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		子どもと保護者のニーズを参考に、必要な支援や活動の工夫を職員で話し合い、計画に反映させて作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者以外にも、児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者を中心に、複数のスタッフで話し合い、計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		スタッフ全員がいつでも再確認しやすいよう個別支援計画のみを五十音順にしてまとめたファイルを別途作成して保管しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		あいだっく独自のアセスメントシートを準備しています。また、専門スタッフが必要に応じて適切なツールを見極めて実施しています。	標準化されたアセスメントツール(WISC等)は行っていないこと。(学校や病院等で別途既に取っている児童も多いため)	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		専門スタッフを中心に、ミーティングや話し合いを行ないながら活動プログラムの立案を行っています。		

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		一人一人の課題に合わせて個別をメインにした活動を行っています。また、午前からの利用時など、活動時間に合わせた確な支援ができるよう活動計画を作成しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別に得意なこと・苦手なこと等に合わせた計画を立案しており、内容も個別はもちろん、イベントや集団での活動も盛り込んだバラエティに富んだ楽しめる内容に出来るよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に打ち合わせを実施し、支援の分担や配慮事項等の確認を行なっています。送迎表や座席、担当、チェック表等も活用してわかりやすく確認出来るように工夫しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		勤務形態にもよりますが、スタッフ間での打合せや振り返りを随時行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日報や個人記録にて、児童の様子や支援内容を記録し、職員が参照できるようにしています。記録を用いて、支援の検証や改善も図っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		本人やご家族のニーズを取り入れながら、取り組み期間や目標を踏まえ、スタッフで話し、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		日常生活の充実、自立への支援等はもちろん、創作活動を中心とした個別活動を行う中で、全体での共同作業や大きな制作なども取り入れ、季節ごとには同じテーマで作成を行う等、活動に幅を持たせています。利用時間に合わせてレクリエーションや休憩などで運動・遊びも工夫して盛り込みながら支援を行っています。	地域との交流については積極的に行なっていないこと。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分で活動内容、使用画材等を定める、それが難しい児童には個別にそれぞれの力に応じて選択肢を準備して選んでもらう等、自己決定の機会をしっかりと作り、活動に取り組んでもらっています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者が中心となって参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		直接主治医とやり取り出来ていない分、学校やご家族を通しての情報交換で体制を整えています。てんかん発作時のダイアップ等、医療行為が必要な場合については、医師の意見書を作成していただいています。また、医療連携も検討中です。	現状主治医との直接的なやり取りは行っていないこと。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		それぞれの学校へ連絡、お願いし、情報共有の協力がいただけている所とは、適宜お迎え時等を中心に情報共有と連絡調整をさせていただいています。	学校から下校時刻や送迎対応、行事予定等の情報は保護者から行うように言われてしまうこともまだ多くあること。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		当事業所と同様に(株)アイダックデザインが運営する相談支援事業を中心に、更なる情報共有に努めています。	現状は連携しておらず、情報提供等もないことが多いこと。(今後必要なケースがあれば積極的に行ってまいります)
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		引き継ぎ事項については、ファイリングし引き継ぎやすくしていると共に、必要に応じてお電話等で様子についての情報共有等を行っています。	現状、必要に応じて行っており、全員について行っているわけではないこと。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修会や連絡会、研修等にはできる限り代表者が出席できるように日程や勤務の調整を行っています。また、必要に応じて関係機関より助言をいただいております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		2Fに学童があることもあり、屋外などの活動時や併用児童の送迎時等に障害のない児童と接する機会があります。また、外部に向けての情報発信や交流も視野に入れて、年度末に展示会を開く等の機会を設けています。	現状ご希望等も多くないこともあり、交流と一緒に活動する機会は積極的に設けてはいないこと。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		都・区の説明会及びセミナー等へ積極的に参加できるよう調整しています。	自立支援協議会には参加できていないこと。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		情報交換は、送迎時の引継ぎや連絡帳、メール等を活用して都度行っています。また、年度末の展示会の際には直接作品をご覧いただきながら情報交換を行っています。保護者との個別面談も実施しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		日々の活動においての評価・工夫等をご家庭での支援で活かしていただけるよう、毎回しっかり振り返りながらメールや送迎時に保護者の方々に細かく報告をしています。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		お便りやガイドブックを作成してわかりやすくなるよう工夫しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		半年に1度面談の機会を設けている他、電話やメール等のツールも利用して日常的にやり取りが可能な状況を作り、随時ご希望やご要望が確認できるようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		必ず保護者に支援計画の内容をご確認いただき、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時メールやお電話、送迎時、面談等の機会を通じて対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会という形ではありませんが、展示会を年1回開催しており、保護者同士の連携やお話する機会が取れる場にもなればと考えています。	保護者からの要望も少なく、現状そういった機会は設けていないこと。(必要性や需要の変化に応じて検討していければと考えています)
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		できるだけ迅速かつ適切な対応を心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎日のブログ更新、SNSでの情報発信、不定期での会報誌の発行などを行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人資料は全て鍵付きの書庫に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		相手に合わせ、伝え方などの工夫をスタッフ間で共有し、意思の疎通や情報伝達の配慮に努めています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		展示会等のイベントを通じて、活動内容を披露したり、ブログ等を活用し、活動報告を行っています。	コロナ発生より、不特定多数との接触への配慮も必要となり、地域住民の招待等はなかなか出来ない現状であること。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは施設内で閲覧することが出来るよう整備しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定すると共に、防災カードを作成して各家庭に配布している他、年に2回以上の避難訓練の実施をしており、消防計画も立てています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時、半年に1度の面談時にフェイスシート等を使っての確認を行なっている他、変更等あった際にはご家族よりご連絡いただいで把握に努めております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがある児童については、受け入れ時に書類も使って確認を行い、提供を控えています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成すると共に、送迎車には安全装置を取り付け、定期的に研修や避難訓練等を行い、交通安全の標語等を使っての意識付け等の工夫も随時行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難訓練の実施時に保護者への参加も呼び掛けたり、訓練等の実施時の様子について報告を行なったりと、随時ご家族への情報発信を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		日報やメール連絡網に記載し、ミーティング時に都度職員間で確認を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を必須で受けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を行わなければならないケースについては、放課後等デイサービス計画にも記載をした上で、保護者にも了承を頂いています。		



公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アトリエあいだっく新中野				公表日	2025年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		事業の指定基準を十分上回るスペースの確保をさせていただいてはありますが、さらに、家具の配置や折り畳み式の机、収納しやすい椅子などの工夫で、場面に合わせたスペースの確保を出来るようにしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		事業の新基準にあわせた職員体制で対応しており、活動に合わせ、絵画等に特化したスタッフや作業療法士、保育士等の専門スタッフも配置し、専門性の高い療育、活動を提供出来るように工夫しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		施設は3Fに位置しておりますが、エレベーターがある他、施設内には段差もない状況で、トイレやロッカー等にもそれぞれマークやイラストをつける等してわかりやすくなるよう工夫しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	○		生活空間内に空気清浄機を設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		大部屋とは別に面談室を準備しており、必要に応じて使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		計画・実行・評価・改善を基本に、ミーティング等を活用しながら日々業務改善を図っています。情報収集や拡散には、メールやプリントを活用し速やかに業務が遂行できるようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年保護者向けの評価表の配布・回収・集計・公表を行なっており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		上記同様、毎年事業所向けの評価表をスタッフに配布し、回収・集計・公表を行なっており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現状第三者による外部評価は行なっていませんが、更新時の調査はもちろん、同企業内他施設の実地調査で指摘された点等を業務改善につなげています。	現状第三者による外部評価は行っていないこと。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		他施設と合流での不定期での大きな研修に加え、毎日の自施設内でのミーティングにて、基本的業務確認のみではなく、障害特性や児童とのかかわり方等、持続性があり効果的な方法で研修が行えるよう心掛けています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	年度末までに公表できるよう準備を進めております。	現時点ではまだ公表が出来ていないこと。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		子どもと保護者のニーズを参考に、必要な支援や活動の工夫を職員で話し合い、計画に反映させて作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者以外にも、児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者を中心に、複数のスタッフで話し合い、計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		スタッフ全員がいつでも再確認しやすいよう個別支援計画のみを五十音順にしてまとめたファイル別途作成して保管しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		あいだっく独自のアセスメントシートを準備しています。また、専門スタッフが必要に応じて適切なツールを見極めて実施しています。	標準化されたアセスメントツール(WISC等)は行っていないこと。(学校や病院等で別途既に取っている児童も多いため)	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		専門スタッフを中心に、ミーティングや話し合いを行ないながら活動プログラムの立案を行っています。		



適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		一人一人の課題に合わせて個別をメインにした活動を行っています。また、午前からの利用時など、活動時間に合わせた確な支援ができるよう活動計画を作成しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別に得意なこと・苦手なこと等に合わせた計画を立案しており、内容も個別はもちろん、イベントや集団での活動も盛り込んだバラエティに富んだ楽しめる内容に出来るよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に打ち合わせを実施し、支援の分担や配慮事項等の確認を行なっています。送迎表や座席、担当、チェック表等も活用してわかりやすく確認出来るように工夫しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		勤務形態にもよりますが、スタッフ間での打合せや振り返りを随時行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日報や個人記録にて、児童の様子や支援内容を記録し、職員が参照できるようにしています。記録を用いて、支援の検証や改善も図っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		本人やご家族のニーズを取り入れながら、取り組み期間や目標を踏まえ、スタッフで話し合い、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		日常生活の充実、自立への支援等はもちろん、創作活動を中心とした個別活動を行う中で、全体での共同作業や大きな制作なども取り入れ、季節ごとには同じテーマで作成を行う等、活動に幅を持たせています。利用時間に合わせてレクリエーションや休憩などで運動・遊びも工夫して盛り込みながら支援を行っています。	地域との交流については積極的に行なっていないこと。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分で活動内容、使用画材等を決める、それが難しい児童には個別にそれぞれの力に応じて選択肢を準備して選んでもらう等、自己決定の機会をしっかりと作り、活動に取り組んでもらっています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者が中心となって参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		直接主治医とやり取り出来ていない分、学校やご家族を通しての情報交換で体制を整えています。てんかん発作時のダイアップ等、医療行為が必要な場合については、医師の意見書を作成していただいています。また、医療連携を開始いたしました。	現状主治医との直接的なやり取りは行っていないこと。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		それぞれの学校へ連絡、お願ひし、情報共有の協力がいただけている所とは、適宜お迎え時等を中心に情報共有と連絡調整をさせていただいています。	学校から下校時刻や送迎対応、行事予定等の情報は保護者から行うように言われてしまうこともまだ多くあること。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		当事業所と同様に(株)アイダックデザインが運営する相談支援事業を中心に、更なる情報共有に努めています。	現状は連携しておらず、情報提供等もないことが多いこと。(今後必要なケースがあれば積極的に行っていきます)
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		引き継ぎ事項については、ファイリングし引き継ぎやすくしていると共に、必要に応じてお電話等で様子についての情報共有等を行っています。	現状、必要に応じて行っており、全員行っているわけではないこと。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修会や連絡会、研修等にはできる限り代表者が出席できるように日程や勤務の調整を行っています。また、必要に応じて関係機関から助言をいただいております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		屋外での活動時や学童併用児童の送迎時等に障害のない児童と接する機会がありますが、交流等は行っていません。外部に向けての情報発信や交流も視野に入れて、展示会を開く等の機会を設けています。	現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的に交流や一緒に活動する機会を設けてはいないこと。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		都・区の説明会及びセミナー等へ積極的に参加できるよう調整しています。	自立支援協議会には参加できていないこと。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		情報交換は、送迎時の引継ぎや連絡帳、メール等を活用して都度行っています。また、外部の展示会等へ出展や個別面談時に直接作品をご覧いただきながら情報交換を行っています。保護者との個別面談も実施しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		日々の活動における評価・工夫等をご家庭での支援で活かしていただけるよう、毎回しっかり振り返りながらメールや送迎時に保護者の方々に細かく報告をしています。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		お便りやガイドブックを作成してわかりやすくなるよう工夫しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		半年に1度面談の機会を設けている他、電話やメール等のツールも利用して日常的にやり取りが可能な状況を作り、随時ご希望やご要望が確認できるようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		必ず保護者に支援計画の内容をご確認いただき、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時メールやお電話、送迎時、面談等の機会を通じて対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	○	保護者会という形ではありませんが、展示会を不定期に開催して、保護者同士の連携やお話する機会が取れる場にもなればと考えています。	保護者からの要望も少なく、現状そういった機会は設けていないこと。(必要性や需要の変化に応じて検討していければと考えています)
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		できるだけ迅速かつ適切な対応を心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎日のブログ更新、SNSでの情報発信、不定期での会報誌の発行などを行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人資料は全て鍵付きの書庫に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		相手に合わせ、伝え方などの工夫をスタッフ間で共有し、意思の疎通や情報伝達の配慮に努めています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○	展示会等のイベントを通じて、活動内容を披露したり、ブログ等を活用し、活動報告を行っています。	コロナ発生より、不特定多数との接触への配慮も必要となり、地域住民の招待等はなかなか出来ない現状であること。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは施設内で閲覧することが出来るよう整備しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定すると共に、防災カードを作成して各家庭に配布している他、年に2回以上の避難訓練の実施をしており、消防計画も立てています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時、半年に1度の面談時にフェイスシート等を使っての確認を行なっている他、変更等あった際にはご家族よりご連絡いただいで把握に努めております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがある児童については、受け入れ時に書類も使って確認を行い、提供を控えています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成すると共に、送迎車には安全装置を取り付け、定期的に研修や避難訓練等を行い、交通安全の標語等を使っての意識付け等の工夫も随時行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難訓練の実施時に保護者への参加も呼び掛けたり、訓練等の実施時の様子について報告を行なったりと、随時ご家族への情報発信を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日報やメール連絡網に記載し、ミーティング時に都度職員間で確認を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を必須で受けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を行わなければならないケースについては、放課後等デイサービス計画にも記載をした上で、保護者にも了承を頂いています。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スタジオあいだっく				公表日	2025年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		事業の指定基準を十分上回るスペースの確保をさせていただいてはおりますが、さらに、家具の配置や折り畳み式の机、収納しやすい椅子などの工夫で、場面に合わせたスペースの確保を出来るようにしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		事業の新基準にあわせた職員体制で対応しており、活動に合わせ、音楽活動が得意なスタッフや理学療法士、言語聴覚士、保育士等の専門スタッフを配置し、専門性の高い療育、活動を提供出来るように工夫しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		事業所は4Fに位置しており、エレベーターはございます。細かな段差等、必要な個所ではスタッフが補助する形で配慮を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		生活空間内に加湿空気清浄機を設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		大部屋とは別に面談室を準備しており、必要に応じて使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		計画・実行・評価・改善を基本に、ミーティング等を活用しながら日々業務改善を図っています。情報収集や拡散には、メールやプリントを活用し速やかに業務が遂行できるようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年保護者向けの評価表の配布・回収・集計・公表を行なっており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		上記同様、毎年事業所向けの評価表をスタッフに配布し、回収・集計・公表を行なっており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現状第三者による外部評価は行なっていませんが、実地調査や更新時の調査で指摘された点等を業務改善へつなげています。	現状第三者による外部評価は行っていないこと。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		他施設と合流での不定期での大きな研修に加え、毎日の自施設内でのミーティングにて、基本的業務確認のみではなく、障害特性や児童とのかかわり方等、持続性があり効果的な方法で研修が行えるよう心掛けています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>	年度末までに公表できるよう準備を進めております。	現時点ではまだ公表できていないこと。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		子どもと保護者のニーズを参考に、必要な支援や活動の工夫を職員で話し合い、計画に反映させて作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者以外にも、児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者を中心に、複数のスタッフで話し合い、計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		スタッフ全員がいつでも再確認しやすいよう個別支援計画のみを五十音順にしてまとめたファイルを別途作成して保管しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		あいだっく独自のアセスメントシートを準備しています。また、専門スタッフが必要に応じて適切なツールを見極めて実施しています。	標準化されたアセスメントツール(WISC等)は行っていないこと。(学校や病院等で別途既に取っている児童も多いため)	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		専門スタッフを中心に、ミーティングや話し合いを行ないながら活動プログラムの立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		歌・楽器、ダンス、カップスの活動を其々ランダムに行うことで様々な活動にとりくめるようにしたり、小さなスキルアップを見逃さずにフィードバックしていったりすることで、毎回新鮮な気持ちで取り組んでもらえるよう工夫を行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別に得意なこと・苦手なこと等に合わせて計画を立案しており、内容も個別はもちろん、イベントや集団での活動も盛り込んだバラエティに富んだ楽しめる内容に出来るよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		支援前に打ち合わせを実施し、支援の分担や配慮事項等の確認を行なっています。送迎表や座席、担当、チェック表等も活用してわかりやすく確認出来るように工夫しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		勤務形態にもよりますが、スタッフ間での打合せや振り返りを随時行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日報や個人記録にて、児童の様子や支援内容を記録し、職員が参照できるようにしています。記録を用いて、支援の検証や改善も図っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		本人やご家族のニーズを取り入れながら、取り組み期間や目標を踏まえ、スタッフで話し合い、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		自立への支援等はもちろん、音楽を中心とした創作活動では、好きな楽器を選択後、楽譜に沿いながらも個々の感性を大切に取組んでもらっています。ダンス等の運動活動も楽しんでもらい、季節のイベントや余暇時間にも工夫して遊び要素を盛り込んでいます。年に1度の発表会では、ご家族、ご親戚の方々に観覧いただき、発表の場、交流の機会として日常生活の充実にもつなげています。	地域との交流については積極的に行なえていないこと。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		楽器活動では演奏したい楽器を毎回選んでいただき、サポートしながら取り組んでいます。発表の場も多く設け、都度皆の前で歌や演奏を発表する選択も出来るようにする等、気軽さと満足感を大切に、称賛も含め、雰囲気づくりの工夫をしています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者が中心となって参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		直接主治医とやり取り出来ていない分、学校やご家族を通しての情報交換で体制を整えています。てんかん発作時のダイアップ等、医療行為が必要な場合については、医師の意見書を作成していただいています。また、医療連携についても検討中です。	現状主治医との直接的なやり取りは行なっていないこと。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		それぞれの学校へ連絡、お願いし、情報共有の協力がいただけている所とは、適宜お迎え時等を中心に情報共有と連絡調整をさせていただいています。	学校から下校時刻や送迎対応、行事予定等の情報は保護者から行うように言われてしまうこともまだまだ多くあること。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		当事業所と同様に(株)アイダックデザインが運営する相談支援事業を中心に、更なる情報共有に努めていきます。	現状は連携しておらず、情報提供等もないことが多いこと。(今後必要なケースがあれば積極的にやっていきます)
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		引き継ぎ事項については、ファイリングし引き継ぎしやすくしていると共に、必要に応じてお電話等で様子についての情報共有等を行っています。	現状、必要に応じて行っており、全員行っているわけではないこと。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		研修会や連絡会、研修等にはできる限り代表者が出席できるように日程や勤務の調整を行っています。また、必要に応じて関係機関への助言を求める等も行っています。	児童発達支援センターと直接的・継続的な連携はとっていないこと。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		屋外などの活動で、障害のない子どもと接する機会がありますが、交流等はしておりません。また、感染症等の関係で今は控えていますが、外部発信も視野に入れ、フェス等のイベントを開催しています。	現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的に交流と一緒に活動する機会を設けてはいないこと。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		都・区の説明会及びセミナー等へ積極的に参加できるよう調整しています。	自立支援協議会には参加できていないこと。



	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		情報交換には、送迎時の引継ぎや連絡帳、メール等を活用して都度行っています。また、年度末のあいだくフェスタでは日頃の成果を発表すると共に、保護者との情報交換を行うこともあります。保護者との個別面談も実施しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		日々の活動における評価・工夫等をご家庭での支援で活かしていただけるよう、毎回しっかり振り返りながらメールや送迎時に保護者の方々に細かく報告をしています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		お便りやガイドブックを作成してわかりやすくなるよう工夫しています。	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		半年に1度面談の機会を設けている他、電話やメール等のツールも利用して日常的にやり取りが可能な状況を作り、随時ご希望やご要望が確認できるようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		必ず保護者に支援計画の内容をご確認いただき、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時メールやお電話、送迎時、面談等の機会を通じて対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	○	保護者会という形ではありませんが、あいだくフェスタを年1回開催しており、保護者同士の連携やお話する機会が取れる場になればと考えています。	保護者からの要望も少なく、現状そういった機会は設けていないこと。(必要性や需要の変化に応じて検討していければと考えています)
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		できるだけ迅速かつ適切な対応を心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎日のブログ更新、SNSでの情報発信、不定期での会報誌の発行などを行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人資料は全て鍵付きの書庫に保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		相手に合わせ、伝え方などの工夫をスタッフ間で共有し、意思の疎通や情報伝達の配慮に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○	イベントを通じて、活動内容を披露したり、地域のお祭りに参加したりすることがあります。(コロナ流行後は行えていない)また、ブログ等を活用し、活動報告を行っています。	コロナ発生より、不特定多数との接触への配慮も必要となり、地域住民の招待等はなかなか出来ない現状となっていること。
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは施設内で閲覧することが出来るよう整備しています。
47		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定すると共に、防災カードを作成して各家庭に配布している他、年に2回以上の避難訓練の実施をしており、消防計画も立てています。	
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時、半年に1度の面談時にフェイスシート等を使っての確認を行なっている他、変更等あった際にはご家族よりご連絡いただいで把握に努めております。	
49		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがある児童については、受け入れ時に書類も使って確認を行い、提供を控えています。	
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成すると共に、送迎時には安全装置を取り付け、定期的に研修や避難訓練等を行い、交通安全の標語等を使っての意識付け等の工夫も随時行っています。	
51		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難訓練の実施時に保護者への参加も呼び掛けたり、訓練等の実施時の様子について報告を行なったりと、随時ご家族への情報発信を行っています。	
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日報やメール連絡網に記載し、ミーティング時に都度職員間で確認を行っています。	
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を必須で受けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を行わなければならないケースについては、放課後等デイサービス計画にも記載をした上で、保護者にも了承を頂いています。	



公表

事業所における自己評価結果

事業所名	パソコンあいだっく		公表日	2025 年 3 月 1 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		事業の指定基準を十分上回るスペースの確保をさせていただいておりますが、さらに、家具の配置や折り畳み式の机、収納しやすい椅子などの工夫で、場面に合わせたスペースの確保を出来るようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		事業の新基準にあわせた職員体制で対応しており、活動に合わせ、作業療法士や保育士も配置し、児童経験が豊富な職員で構成しております。専門性の高い療育、活動を提供出来るように工夫しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所は7Fに位置しており、エレベーターがございます。入り口やトイレ等への少しの段差は必要に応じてスタッフが補助する形で配慮を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		生活空間内に空気清浄機を設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		大部屋とは別に面談室を準備しており、必要に応じて使用できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		計画・実行・評価・改善を基本に、ミーティング等を活用しながら日々業務改善を図っています。情報収集や拡散には、メールやプリントを活用し速やかに業務が遂行できるようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年保護者向けの評価表の配布・回収・集計・公表を行っており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		上記同様、毎年事業所向けの評価表をスタッフに配布し、回収・集計・公表を行っており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現状第三者による外部評価は行なっていませんが、更新時の調査や同企業内他施設の実地調査で指摘された点等を参考に、業務改善につなげています。	現状第三者による外部評価は行っていないこと。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		他施設と合流での不定期での大きな研修に加え、毎日の自施設内でのミーティングにて、基本的業務確認のみではなく、障害特性や児童とのかわり方等、持続性があり効果的な方法で研修が行えるよう心掛けています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	年度末までには公表が行なえるように準備を進めております。	現時点では公表できていないこと。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		子どもと保護者のニーズを参考に、必要な支援や活動の工夫を職員で話し合い、計画に反映させて作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者以外にも、児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者を中心に、複数のスタッフで話し合い、計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		スタッフ全員がいつでも再確認しやすいよう個別支援計画のみを五十音順にしてまとめたファイルを別途作成して保管しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		あいだっく独自のアセスメントシートを準備しています。また、専門スタッフが必要に応じて適切なツールを見極めて実施しています。	標準化されたアセスメントツール(WISC等)は行っていないこと。(学校や病院等で別途既に取っている児童も多いため)
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		専門スタッフを中心に、ミーティングや話し合いを行ないながら活動プログラムの立案を行っています。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		一人一人の課題に合わせて個別をメインにした活動を行っています。また、午前からの利用時など、活動時間に合わせた的確な支援ができるよう活動計画を作成しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別に得意なこと・苦手なこと等に合わせて計画を立案しており、内容も個別はもちろん、イベントや集団での活動も盛り込んだバラエティに富んだ楽しめる内容に出来るよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に打ち合わせを実施し、支援の分担や配慮事項等の確認を行なっています。送迎表や座席、担当、チェック表等も活用してわかりやすく確認出来るように工夫しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		勤務形態にもよりますが、スタッフ間での打合せや振り返りを随時行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日報や個人記録にて、児童の様子や支援内容を記録し、職員が参照できるようにしています。記録を用いて、支援の検証や改善も図っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		本人やご家族のニーズを取り入れながら、取り組み期間や目標を踏まえ、スタッフで話し合い、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		タイピングやパワーポイントを活用した活動から、アイロンビーズやレジン製作等まで、また、長期休暇等には外出活動等も行っており、こうした活動や他児童との交流の中で、日常生活の充実、自立への支援等はもちろん、創作活動や運動や遊び等も取り入れた支援を行っております。	地域との交流については積極的に行なっていないこと。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動前に選択肢を提示し、児童が興味や得意なことを考えながら自己選択できるよう支援しています。また、成功体験を積み重ねることで自己決定の自信を育む環境を整えています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者が中心となって参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		直接主治医とやり取り出来ていない分、学校やご家族を通しての情報交換で体制を整えています。てんかん発作時のダイアップ等、医療行為が必要な場合については、医師の意見書を作成していただいています。また、医療連携も検討中です。	現状主治医との直接的なやり取りは行なっていないこと。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		それぞれの学校へ連絡、お願いし、情報共有の協力がいただけている所とは、適宜お迎え時等を中心に情報共有と連絡調整をさせていただいています。	学校から下校時刻や送迎対応、行事予定等の情報は保護者から行うように言われてしまうこともまだまだ多くあること。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		当事業所と同様に(株)アイダックデザインが運営する相談支援事業を中心に、更なる情報共有に努めています。	現状は連携しておらず、情報提供等もないことが多いこと。(今後必要なケースがあれば積極的に行っていきます)
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		引き継ぎ事項については、ファイリングし引き継ぎやすくしていると共に、必要に応じてお電話等で様子についての情報共有等を行っています。	現状、必要に応じて行っており、全員について行っていないこと。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修会や連絡会、研修等には出来る限り代表者が出席できるように日程や勤務の調整を行っています。また、必要に応じて関係機関から助言をいただいております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		屋外活動時等に障害のない児童と接する機会はあるますが、交流等はおこなっておりません。	現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的に交流や一緒に活動する機会等は設けていないこと。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		都・区の説明会及びセミナー等へは積極的に参加できるよう調整しています。	自立支援協議会には参加できていないこと。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		情報交換には、送迎時の引継ぎや連絡帳、メール等を活用して都度行っています。また保護者との個別面談も実施しています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		日々の活動における評価・工夫等をご家庭での支援で活かしていただけるよう、毎回しっかり振り返りながらメールや送迎時に保護者の方々に細かく報告をしています。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		お便りやガイドブックを作成してわかりやすくなるよう工夫しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		半年に1度面談の機会を設けている他、電話やメール等のツールも利用して日常的にやり取りが可能な状況を作り、随時ご希望やご要望が確認できるようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		必ず保護者に支援計画の内容をご確認いただき、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時メールやお電話、送迎時、面談等の機会を通じて対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		半年に1回の面談に加え、学校や他施設でも行事や面談等があることを考慮すると、働いている保護者にとって仕事を休んで時間を取る負担が大きくなるため、要望も少ないことから、現時点では定期的な保護者会は実施しておりません。	保護者からの要望も少なく、現状そういった機会は設けていないこと。(必要性や需要の変化に応じて検討していければと考えています)
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		できるだけ迅速かつ適切な対応を心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎日のブログ更新、SNSでの情報発信、不定期での会報誌の発行などを行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人資料は全て鍵付きの書庫に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		相手に合わせ、伝え方などの工夫をスタッフ間で共有し、意思の疎通や情報伝達の配慮に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		ブログ等を活用し、活動報告を行っています。	コロナ発生より、不特定多数との接触への配慮も必要となり、地域住民の招待等はなかなか出来ない現状であること。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは施設内で閲覧することが出来るよう整備しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定すると共に、防災カードを作成して各家庭に配布している他、年に2回以上の避難訓練の実施をしており、消防計画も立てています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時、半年に1度の面談時にフェイスシート等を使っての確認を行なっている他、変更等あった際にはご家族よりご連絡いただき把握に努めております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがある児童については、受け入れ時に書類も使って確認を行い、提供を控えています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成すると共に、送迎車には安全装置を取り付け、定期的に研修や避難訓練等を行い、交通安全の標語等を使っての意識付け等の工夫も随時行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難訓練の実施時に保護者への参加も呼び掛けたり、訓練等の実施時の様子について報告を行ったりと、随時ご家族への情報発信を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日報やメール連絡網に記載し、ミーティング時に都度職員間で確認を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を必須で受けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を行わなければならないケースについては、放課後等デイサービス計画にも記載をした上で、保護者にも了承を頂いています。		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		サッカーあいだっく		公表日		2025年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		屋外にて活動可能な際には、公園や公共の場等を使って活動を行なっています。事業所内については、事業の指定基準を十分に回るスペースの確保をさせていただいてはありますが、さらに、場面に合わせたスペースの確保を出来るように机や椅子の種類、配置、収納等の工夫をしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		事業の新基準にあわせた職員体制で対応しており、サッカーや運動が得意なスタッフや理学療法士、保育士等の専門スタッフも配置し、専門性の高い療育、活動を提供出来るように工夫しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	施設は2階にあり、階段を上る必要がありますが、場面に合わせてスタッフが上り下りの手伝いなど行っています。	エレベーターや手すりなどのバリアフリーには対応していないこと。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		生活空間内に加湿空気清浄機を設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		大部屋とは別に面談室を準備しており、必要に応じて使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		計画・実行・評価・改善を基本に、ミーティング等を活用しながら日々業務改善を図っています。情報収集や拡散には、メールやプリントを活用し速やかに業務が遂行できるようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年保護者向けの評価表の配布・回収・集計・公表を行なっており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		上記同様、毎年事業所向けの評価表をスタッフに配布し、回収・集計・公表を行なっており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現状第三者による外部評価は行なっておりませんが、実地調査や更新時の調査で指摘された点については改善しています。	現状第三者による外部評価は行なっていないこと。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		他施設と合流での不定期での大きな研修に加え、毎日の自施設内でのミーティングにて、基本的業務確認のみではなく、障害特性や児童とのかわり方等、持続性があり効果的な方法で研修が行えるよう心掛けています。		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	年度末までに公表できるよう準備を進めております。	現時点ではまだ公表出来ていないこと。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		子どもと保護者のニーズを参考に、必要な支援や活動の工夫を職員で話し合い、計画に反映させて作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者以外にも、児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者を中心に、複数のスタッフで話し合い、計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		スタッフ全員がいつでも再確認しやすいよう個別支援計画のみを五十音順にしてまとめたファイルを別途作成して保管しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		あいだっく独自のアセスメントシートを準備しています。また、専門スタッフが必要に応じて適切なツールを見極めて実施しています。	標準化されたアセスメントツール(WISC等)は行なっていないこと。(学校や病院等で別途既に取っている児童も多いため)	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		専門スタッフを中心に、ミーティングや話し合いを行ないながら活動プログラムの立案を行っています。		



適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		スタッフが週単位でプログラムを考案し、屋外や屋内で児童が楽しく過ごせるよう尽力しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別に得意なこと・苦手なこと等に合わせた計画を立案しており、内容も個別はもちろん、イベントや集団での活動も盛り込んだバラエティに富んだ楽しめる内容に出来るよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に打ち合わせを実施し、支援の分担や配慮事項等の確認を行なっています。支援中もスタッフ全員で児童の対応に当たる等して連携をはかっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		勤務形態にもよりますが、スタッフ間での打合せや振り返りを随時行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日報や個人記録にて、児童の様子や支援内容を記録し、職員が参照できるようにしています。記録を用いて、支援の検証や改善も図っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		本人やご家族のニーズを取り入れながら、取り組み期間や目標を踏まえ、スタッフで話し合い、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		日常生活の充実、自立への支援等はもちろん、運動活動を中心とした集団活動を行う中で、季節のイベントなど活動に幅を持たせて創作活動等も取り入れています。利用時間に合わせてレクリエーションや休憩なども工夫して盛り込みながら支援を行っています。	地域との交流については積極的に行なえていないこと。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもが主体となり活動に参加し、色々な役割や先生役などを担ってもらう事で自己決定力を育てています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者が中心となって参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		直接主治医とやり取り出来ていない分、学校やご家族を通しての情報交換で体制を整えています。てんかん発作時のダイヤップ等、医療行為が必要な場合については、医師の意見書を作成していただいています。また、医療連携についても検討中です。	現状主治医との直接的なやり取りは行なっていないこと。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		それぞれの学校へ連絡、お願いし、情報共有の協力がいただけている所とは、適宜お迎え時等を中心に情報共有と連絡調整をさせていただいています。	学校から下校時刻や送迎対応、行事予定等の情報は保護者から行うように言われてしまうこともまだ多くあること。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		当事業所と同様に(株)アイダックデザインが運営する相談支援事業を中心に、更なる情報共有に努めていきます。	現状は連携しておらず、情報提供等もないことが多いこと。(今後必要なケースがあれば積極的に行っていきます)
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		引き継ぎ事項については、ファイリングし引き継ぎやすくしていると共に、必要に応じてお電話等で様子についての情報共有等を行っています。	現状、必要に応じて行っており、全員について行っていないこと。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修会や連絡会、研修等にはできる限り代表者が出席できるように日程や勤務の調整を行っており、必要に応じて関係機関からの助言をいただいています。	新宿区には児童発達支援センターがなく、連携はできていないこと。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		屋外などの活動で、障害のない子どもと接する機会がありますが、一緒に活動をするまでには至っていません。	現状、ご希望等も多くないこともあり、交流や一緒に活動する機会等は積極的に設けては行っていないこと。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		都・区の説明会及びセミナー等へ積極的に参加できるよう調整しています。	自立支援協議会には参加できていないこと。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		情報交換には、送迎時の引継ぎや連絡帳、メール等を活用し、都度行っています。また都度電話連絡をして気にある事や今日の出来事など細かくお伝えしたり、保護者との個別面談も実施しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		日々の活動における評価・工夫等をご家庭での支援で活かしていただけるよう、毎回しっかり振り返りながらメールや送迎時に保護者の方々に細かく報告をしています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		お便りやガイドブックを作成してわかりやすくするよう工夫しています。		



保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		半年に1度面談の機会を設けている他、電話やメール等のツールも利用して日常的にやり取りが可能な状況を作り、随時ご希望やご要望が確認できるようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		必ず保護者に支援計画の内容をご確認いただき、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時メールやお電話、送迎時、面談等の機会を通じて対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会という形ではありませんが、事業所同士での交流試合を年1回開催しており、保護者同士の連携やお話する機会が取れる場にもなればと考えています。	保護者からの要望も少なく、現状そういった機会は設けていないこと。(必要性や需要の変化に応じて検討していければと考えています)
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		できるだけ迅速かつ適切な対応を心掛けています。	
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎日のブログ更新、SNSでの情報発信、不定期での会報誌の発行などを行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人資料は全て鍵付きの書庫に保管しています。	
非常時等の対応	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		相手に合わせ、伝え方などの工夫をスタッフ間で共有し、意思の疎通や情報伝達の配慮に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		障がい児のスポーツイベントなど、地域の活動に参加したりすることがあります。(コロナ流行後は行えていない) また、ブログ等を活用し、活動報告を行っています。	コロナ発生より、不特定多数との接触への配慮も必要となり、地域住民の招待等はなかなか出来ていない現状ではあること。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは施設内で閲覧することが出来るよう整備しています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画(BCP)を策定すると共に、防災カードを作成して各家庭に配布している他、年に2回以上の避難訓練の実施をしており、消防計画も立てています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時、半年に1度の面談時にフェイスシート等を使っての確認を行なっている他、変更等あった際にはご家族よりご連絡いただいて把握に努めております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがある児童については、受け入れ時に書類も使って確認を行い、提供を控えています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成すると共に、送迎車には安全装置を取り付け、定期的に研修や避難訓練等を行い、交通安全の標語等を使っての意識付け等の工夫も随時行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難訓練の実施時に保護者への参加も呼び掛けたり、訓練等の実施時の様子について報告を行なったりと、随時ご家族への情報発信を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日報やメール連絡網に記載し、ミーティング時に都度職員間で確認を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を必須で受けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を行わなければならないケースについては、放課後等デイサービス計画にも記載をした上で、保護者にも了承を頂いています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		渋谷あいだっく		公表日		2025年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		事業の指定基準を十分上回るスペースの確保をさせていただいてはおりますが、さらに、家具の配置や折り畳み式の机、収納しやすい椅子などの工夫で、場面に合わせたスペースの確保を出来るようにしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		事業の新基準にあわせた職員体制で対応しており、活動に合わせ、パソコン・アトリエ・スタジオそれぞれの活動が得意なスタッフや理学療法士、保育士等の専門スタッフを配置し、専門性の高い療育、活動を提供出来るように工夫しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		スタッフが、必要な個所で補助する形で配慮を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		生活空間内に空気清浄機(加湿・除湿機能付き)を2台設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		大部屋とは別に面談室を準備しており、必要に応じて使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		計画・実行・評価・改善を基本に、ミーティング等を活用しながら日々業務改善を図っています。情報収集や拡散には、メールやプリントを活用し速やかに業務が遂行できるようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年保護者向けの評価表の配布・回収・集計・公表を行っており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		上記同様、毎年事業所向けの評価表をスタッフに配布し、回収・集計・公表を行っており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現状第三者による外部評価は行なっていませんが、実地調査や更新時の調査で指摘された点については改善しています。	現状第三者による外部評価は行っていないこと。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		他施設と合流での不定期での大きな研修に加え、毎日の自施設内でのミーティングにて、基本的業務確認のみではなく、障害特性や児童とのかわり方等、持続性があり効果的な方法で研修が行えるよう心掛けています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>	年度末までには公表できるように準備を進めております。	現時点ではまだ公表出来ていないこと。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		子どもと保護者のニーズを参考に、必要な支援や活動の工夫を職員で話し合い、計画に反映させて作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者以外にも、児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者を中心に、複数のスタッフで話し合い、計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		スタッフ全員がいつでも再確認しやすいよう個別支援計画のみを五十音順にしてまとめたファイルを別途作成して保管しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		あいだっく独自のアセスメントシートを準備しています。また、専門スタッフが必要に応じて適切なツールを見極めて実施しています。	標準化されたアセスメントツール(WISC等)は行っていないこと。(学校や病院等で別途既に取っている児童も多いため)	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		専門スタッフを中心に、ミーティングや話し合いを行ないながら活動プログラムの立案を行っています。		

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	曜日ごとに活動内容を分け、固定化しないよう努めています。また、固定のプログラム以外でも自由時間を使い、子どもたちが「やりたい」という気持ちを尊重し、できるだけ個々に合わせた遊びや活動を提示しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	個別に得意なこと・苦手なこと等に合わせた計画を立案しており、内容も個別はもちろん、イベントや集団での活動も盛り込んだバラエティに富んだ楽しめる内容に出来るよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	支援前に打ち合わせを実施し、支援の分担や配慮事項等の確認を行なっています。送迎表や座席、担当、チェック表等も活用してわかりやすく確認出来るように工夫しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	勤務形態にもよりますが、スタッフ間での打合せや振り返りを随時行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	日報や個人記録にて、児童の様子や支援内容を記録し、職員が参照できるようにしています。記録を用いて、支援の検証や改善も図っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	本人やご家族のニーズを取り入れながら、取り組み期間や目標を踏まえ、スタッフで話し合い、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○	パソコン活動は、パソコンやiPad以外にも、ボタンホック付けやSST等、個々の能力に合わせながら、活動内容を提供しています。アトリエ活動は、季節やイベント事に合わせた制作活動を中心に、個別や集団等活動に幅を持たせています。スタジオ活動は、ダンスや歌を中心に、ラダーステップ運動、反射運動、縄跳び等、身体を使った運動にも取り組み活動の幅を持たせています。また、季節のイベントや余暇時間も工夫を盛り込みながら、自立への支援はもちろん、創作活動や運動・遊び等も含めて支援を行っています。スタジオ活動の利用児童は、年に1度発表会（あいだっくフェスタ）にて、ご家族の方々に観覧いただき、発表の場、交流の機会として日常生活の充実にもつなげています。	地域との交流については積極的に行なえていないこと。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	自分で活動内容（パソコン課題・画材道具・ダンス曲等）を決める、それが難しい児童には個別にそれぞれの力に応じて選択肢を準備して選んでもらう等、自己決定の機会をしっかりと作り、活動に取り組んでもらっています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者が中心となって参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	直接主治医とやり取り出来ていない分、学校やご家族を通しての情報交換で体制を整えています。てんかん発作時のタイアップ等、医療行為が必要な場合については、医師の意見書を作成していただいています。また、医療連携を始めています。	現状主治医との直接的なやり取りは行なっていないこと。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	それぞれの学校へ連絡、お願ひし、情報共有の協力がいただいている所とは、適宜お迎え時等を中心に情報共有と連絡調整をさせていただいています。	学校から下校時刻や送迎対応、行事予定等の情報は保護者から行うように言われてしまうこともまだまだ多くあります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	当事業所と同様に(株)アイダックデザインが運営する相談支援事業を中心に、更なる情報共有に努めていきます。	現状は連携しておらず、情報提供等もないことが多いこと。(今後必要なケースがあれば積極的に行っていきます)
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	引き継ぎ事項については、ファイリングし引き継ぎやすくしていると共に、必要に応じてお電話等で様子についての情報共有等を行っています。	現状、必要に応じて行っており、全員について行っていないこと。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	研究会や連絡会、研修等にはできる限り代表者が出席できるように日程や勤務の調整を行っています。また、必要に応じて関係機関等に助言をいただいています。	児童発達支援センターとの直接的な連携はできていないこと。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	屋外などの活動で、障害のない子どもと接する機会がありますが、一緒に活動をするまでには至っていません。	現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的に交流や一緒に活動する機会等は設けていないこと。
33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○	都・区の説明会及びセミナー等へ積極的に参加できるよう調整しています。	自立支援協議会には参加できていないこと。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		情報交換には、送迎時の引継ぎや連絡帳、メール等を活用して都度行っています。また、年度末のあいだくフェスタでは日頃の成果を発表すると共に、保護者との情報交換を行うこともあります。保護者との個別面談も実施しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		日々の活動における評価・工夫等をご家庭での支援で活かしていただけるよう、毎回しっかり振り返りながらメールや送迎時に保護者の方々に細かく報告をしています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		お便りやガイドブックを作成してわかりやすくなるよう工夫しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		半年に1度面談の機会を設けている他、電話やメール等のツールも利用して日常的にやり取りが可能な状況を作り、随時ご希望やご要望が確認できるようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		必ず保護者に支援計画の内容をご確認いただき、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		随時メールやお電話、送迎時、面談等の機会を通じて対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		保護者会という形ではありませんが、あいだくフェスタを年1回開催しており、保護者同士の連携やお話する機会が取れる場になればと考えています。	保護者からの要望も少なく、現状そういった機会は設けていないこと。(必要性や需要の変化に応じて検討していければと考えています)
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		できるだけ迅速かつ適切な対応を心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		毎日のブログ更新、SNSでの情報発信、不定期での会報誌の発行などを行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報は全て鍵付きの書庫に保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		相手に合わせ、伝え方などの工夫をスタッフ間で共有し、意思の疎通や情報伝達の配慮に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		イベントを通じて、活動内容を披露したり、地域のお祭りに参加したりすることがあります。(コロナ流行後は行っていない)また、ブログ等を活用し、活動報告を行っています。	コロナ発生より、不特定多数との接触への配慮も必要となり、地域住民の招待等はなかなか出来ない現状ではあること。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		各種マニュアルは施設内で閲覧することが出来るよう整備しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		業務継続計画（BCP）を策定すると共に、防災カードを作成して各家庭に配布している他、年に2回以上の避難訓練の実施をしており、消防計画も立てています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		契約時、半年に1度の面談時にフェイスシート等を使っての確認を行なっている他、変更等あった際にはご家族よりご連絡いただいで把握に努めております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		アレルギーがある児童については、受け入れ時に書類も使って確認を行い、提供を控えています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画を作成すると共に、送迎車には安全装置を取り付け、定期的に研修や避難訓練等を行い、交通安全の標語等を使っての意識付け等の工夫も随時行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		避難訓練の実施時に保護者への参加も呼び掛けたり、訓練等の実施時の様子について報告を行なったりと、随時ご家族への情報発信を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		日報やメール連絡網に記載し、ミーティング時に都度職員間で確認を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		虐待防止研修を必須で受けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		身体拘束を行なわなければならないケースについては、放課後等デイサービス計画にも記載をした上で、保護者にも了承を頂いています。		



公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ブロックあいだっく				公表日	2025年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		事業の指定基準を十分上回るスペースの確保をさせていただいてはおりますが、さらに、家具の配置や折り畳み式の机、収納しやすい椅子などの工夫で、場面に合わせたスペースの確保を出来るようにしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		事業の新基準にあわせた職員体制で対応しており、作業療法士や保育士等の専門職員や児童経験が豊富な職員を配置し、専門性の高い療育、活動を提供出来るように工夫しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		施設は2階にあり階段を上る必要がありますが場面に合わせてスタッフが上り下りの手伝いなど行っています。施設内には必要な個所に絵カード等を掲示し視覚的に認識できよう配慮しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		生活空間内に空気清浄機を設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		大部屋とは別に面談室を準備しており、必要に応じて使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		計画・実行・評価・改善を基本に、ミーティング等を活用しながら日々業務改善を図っています。情報収集や拡散には、メールやプリントを活用し速やかに業務が遂行できるようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年保護者向けの評価表の配布・回収・集計・公表を行なっており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		上記同様、毎年事業所向けの評価表をスタッフに配布し、回収・集計・公表を行なっており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現状第三者による外部評価は行っていないが、実地調査等で指摘された点については改善しています。	現状第三者による外部評価は行っていないこと。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		他施設と合流での不定期での大きな研修に加え毎日の自施設内でのミーティングにて基本的業務確認のみではなく障害特性や児童とのかわり方等持続性があり効果的な方法で研修が行えるよう心掛けています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>	年度末までに公表出来るよう準備を進めております。	現時点では公表出来ていないこと。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		子どもと保護者のニーズを参考に、必要な支援や活動の工夫を職員で話し合い、計画に反映させて作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者以外にも、児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者を中心に、複数のスタッフで話し合い、計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		スタッフ全員がいつでも再確認しやすいよう個別支援計画のみを五十首順にしてまとめたファイルを別途作成して保管しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		あいだっく独自のアセスメントシートを準備しています。また、専門スタッフが必要に応じて適切なツールを見極めて実施しています。	標準化されたアセスメントツール(WISC等)は行っていないこと。(学校や病院等で別途既に取っている児童も多いため)	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながらこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。		



適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		専門スタッフを中心に、ミーティングや話し合いを行ないながら活動プログラムの立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		活動の中で、課題にするものや材料、道具に様々なものを取り入れながら活動を組み立てていき、提案しています。内容も季節ごとやテーマごとに変化をつけつつ、固定化しないように気を付けています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		状況に応じて、個別活動（工作等）・集団活動（レクリエーション等）を組み合わせながらサービス計画を作成しています。また、イベントも取り入れバラエティに富んだ楽しめる内容にできるよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		支援前に打ち合わせを実施し、支援の分担や配慮事項等の確認を行なっています。送迎表を活用し座席や担当をわかりやすく確認できるよう工夫しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		支援終了後、毎日、全員でというのは時間や体制的に難しいものの、重要なことは共有しています。支援終了後に行えなかった支援の振り返り等については翌日のミーティングで行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日報や個人記録にて、児童の様子や支援内容を記録し、職員が参照できるようにしています。記録を用いて、支援の検証や改善も図っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		本人やご家族のニーズを取り入れながら、取り組み期間や目標を踏まえ、スタッフで話し合い、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>		日常生活の充実、自立への支援等はもちろん、創作活動では、工作・レクリエーション等の活動を中心に、全体での共同作業や大きな制作なども取り入れ、季節ごとには同じテーマで作成を行う等、活動に幅を持たせています。利用時間に合わせて休憩や個別の活動で運動・遊びの要素も盛り込みながら支援を行っています。	地域との交流については積極的に行なっていないこと。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		自分で活動内容、使用するツール等を定める、難しい児童には個別にそれぞれの力に応じて選択肢を準備して選んでもらう等、自己決定の機会をしっかりと作り、活動に取り組んでもらっています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童との関わりも深く、性格や特性をより把握している者が中心となって参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		直接主治医とやり取り出来ない分、学校やご家族を通しての情報交換で体制を整えています。てんかん発作時のダイアップ等、医療行為が必要な場合については、医師の意見書を作成していただいています。また、医療連携についても検討中です。	現状主治医との直接的なやり取りは行なっていないこと。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		それぞれの学校へ連絡、お願ひし、情報共有の協力がいただいている所とは、適宜お迎え時等を中心に情報共有と連絡調整をさせていただいています。	学校から下校時刻や送迎対応、行事予定等の情報は保護者から行うように言われてしまうこともまだまだ多くあること。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		当事業所と同様に(株)アイダックデザインが運営する相談支援事業を中心に、更なる情報共有に努めています。	現状、必要に応じて行っており、全員について行っていないこと。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		引き継ぎ事項については、ファイリングし引き継ぎやすくすると共に、必要に応じてお電話等で様子についての情報共有等を行っています。	現状、必要に応じて行っており、全員について行っていないこと。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		研修会や連絡会にはできる限り出席できるように日程や勤務の調整を行っています。また、必要に応じて関係機関に助言をいただいております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		現状、屋外での活動時に接する場面はあるが、交流等は行なっておりません。	現状、交流と一緒に活動する機会等は積極的に設けては行っていないこと。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		都・区の説明会及びセミナー等へ積極的に参加できるよう調整しています。	「自立支援協議会」には参加できていないこと。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		送迎時の伝達や一日の連絡メール等で情報発信及び情報共有に努めています。また定期的に個別面談を行っています。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		日々の活動においての評価・工夫等をご家庭での支援で活かしていただけるよう、一日の連絡メールや送迎時に情報を共有しています。また保護者からも情報をいただいております。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		お便りやガイドブックを作成してわかりやすくなるよう工夫しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		半年に1度面談の機会を設けている他、電話やメール等のツールも利用して日常的にやり取りが可能な状況を作り、随時ご希望やご要望が確認できるようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		必ず保護者に支援計画の内容をご確認いただき、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時メールやお電話、送迎時、面談等の機会を通じて対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		半年に1回の面談に加え、学校や他施設でも行事や面談等があることを考慮すると、働いている保護者にとって仕事を休んで時間を取る負担が大きくなるため、要望も少ないことから、現時点では定期的な保護者会は実施しておりません。	保護者会等は開催できていないこと。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		できるだけ迅速かつ適切な対応を心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎日のブログ更新、SNSでの情報発信、不定期での会報誌の発行などを行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人資料は全て鍵付きの書庫に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		相手に合わせ、伝え方などの工夫をスタッフ間で共有し、意思の疎通や情報伝達の配慮に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域住民の招待等は行えておりませんが、ブログ等を活用し、活動報告を行っています。	コロナ発生より、不特定多数との接触への配慮も必要となり、地域住民の招待等はなかなか出来ていない現状であること。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは施設内で閲覧することが出来るよう整備しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定すると共に、防災カードを作成して各家庭に配布している他、年に2回、避難訓練の実施。消防計画を立てています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時、半年に1度の面談時にフェイスシート等を使っての確認を行なっている他、変更等あった際にはご家族よりご連絡いただき、把握に努めております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがある児童については、受け入れ時に書類も使って確認を行い、提供を控えています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成すると共に、送迎時には安全装置を取り付け、定期的に研修や避難訓練等を行い、交通安全の標語等を使っての意識付け等の工夫も随時行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難訓練の実施時に保護者への参加も呼び掛けたり、訓練等の実施時の様子について報告を行なったりと、随時ご家族への情報発信を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日報やメール連絡網に記載し、ミーティング時に都度職員間で確認を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を必須で受けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を行わなければならないケースについては、放課後等デイサービス計画にも記載をした上で、保護者にも了承を頂いています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アトリエあいだっく川崎		公表日		2025年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		事業の指定基準を十分上回るスペースの確保をさせていただいてはおりますが、さらに、家具の配置や折り畳み式の机、収納しやすい椅子などの工夫で、場面に合わせたスペースの確保を出来るようにしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		事業の新基準にあわせた職員体制で対応しており、活動に合わせ、絵画等に特化したスタッフや作業療法士、保育士等の専門スタッフも配置し、専門性の高い療育、活動を提供出来るように工夫しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		施設は1Fに位置しており、施設内に段差もない状況で、トイレやロッカー等にもそれぞれマークやイラストをつける等してわかりやすくなるよう工夫しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		生活空間内に空気清浄機を設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		大部屋とは別に面談室を準備しており、必要に応じて使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		計画・実行・評価・改善を基本に、ミーティング等を活用しながら日々業務改善を図っています。情報収集や拡散には、メールやプリントを活用し速やかに業務が遂行できるようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年保護者向けの評価表の配布・回収・集計・公表を行っており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		上記同様、毎年事業所向けの評価表をスタッフに配布し、回収・集計・公表を行っており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現状第三者による外部評価は行なっていませんが、更新時や同企業内他施設の実地調査で指摘された点等を参考に業務改善しています。	現状第三者による外部評価は行っていないこと。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		他施設と合流での不定期での大きな研修に加え、毎日の自施設内でのミーティングにて、基本的業務確認のみではなく、障害特性や児童とのかわり方等、持続性があり効果的な方法で研修が行えるよう心掛けています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>	年度末までに公表が行なえるよう準備を進めております。	現時点ではまだ公表出来ていないこと。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		子どもと保護者のニーズを参考に、必要な支援や活動の工夫を職員で話し合い、計画に反映させて作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者以外にも、児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者を中心に、複数のスタッフで話し合い、計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		スタッフ全員がいつでも再確認しやすいよう個別支援計画のみを五十音順にしてまとめたファイルを別途作成して保管しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		あいだっく独自のアセスメントシートを準備しています。また、専門スタッフが必要に応じて適切なツールを見極めて実施しています。	標準化されたアセスメントツール(WISC等)は行っていないこと。(学校や病院等で別途既に取っている児童も多いため)	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		専門スタッフを中心に、ミーティングや話し合いを行ないながら活動プログラムの立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		一人一人の課題に合わせて個別をメインにした活動を行っています。また、午前からの利用時など、活動時間に合わせた確かな支援ができるよう活動計画を作成しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別に得意なこと・苦手なこと等に合わせた計画を立案しており、内容も個別はもちろん、イベントや集団での活動も盛り込んだバラエティに富んだ楽しめる内容に出来るよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に打ち合わせを実施し、支援の分担や配慮事項等の確認を行なっています。送迎表や座席、担当、チェック表等も活用してわかりやすく確認出来るように工夫しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		勤務形態にもよりますが、スタッフ間での打合せや振り返りを随時行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日報や個人記録にて、児童の様子や支援内容を記録し、職員が参照できるようにしています。記録を用いて、支援の検証や改善も図っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		本人やご家族のニーズを取り入れながら、取り組み期間や目標を踏まえ、スタッフで話し合い、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		日常生活の充実、自立への支援等はもちろん、創作活動を中心とした個別活動を行う中で、全体での共同作業や大きな制作なども取り入れ、季節ごとには同じテーマで作成を行う等、活動に幅を持たせています。利用時間に合わせてレクリエーションや休憩などで運動・遊びも工夫して盛り込みながら支援を行っています。	地域との交流については積極的に行なえていないこと。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分で活動内容、使用画材等を決める、それが難しい児童には個別にそれぞれの力に応じて選択肢を準備して選んでもらう等、自己決定の機会をしっかりと作り、活動に取り組んでもらっています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者が中心となって参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		直接主治医とやり取り出来ていない分、学校やご家族を通しての情報交換で体制を整えています。てんかん発作時のダイアップ等、医療行為が必要な場合については、医師の意見書を作成していただいています。また、医療連携を開始いたしました。	現状主治医との直接的なやり取りは行なっていないこと。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		それぞれの学校へ連絡、お願ひし、情報共有の協力がいただけている所とは、適宜お迎え時等を中心に情報共有と連絡調整をさせていただいています。	学校の月間予定表や学年だよりの発行が遅い時もあり、月初の下校時刻把握が難しいことがあること。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		当事業所と同様に(株)アイダックデザインが運営する相談支援事業を中心に、更なる情報共有に努めています。	現状は連携しておらず、情報提供等もないことが多いこと。(今後必要なケースがあれば積極的に行っていきます)
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	△		引き継ぎ事項については、ファイリングし引き継ぎやすくしていると共に、必要に応じてお電話等で様子についての情報共有等を行っています。	現状、必要に応じて行っており、全員について行ってはいないこと。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	△		研修会や連絡会、研修等にはできる限り代表者が出席できるように日程や勤務の調整を行っています。また、必要に応じて関係機関からの助言をいただいております。	児童発達支援センターとの直接的・継続的な連携はできていないこと。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		屋外活動時等に障害のない児童と接する機会がありますが、交流等は行なっていません。外部に向けての情報発信や交流も視野に入れて、フェス等の機会は設けています。	現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的に交流や一緒に活動を行う機会は設けていないこと。



	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>	都・区の説明会及びセミナー等へ積極的に参加できるよう調整しています。	自立支援協議会には参加できていないこと。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>	情報交換には、送迎時の引継ぎや連絡帳、メール等を活用して都度行っています。また、フェス等の際には直接作品をご覧いただきながら情報交換を行っています。保護者との個別面談も実施しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>	日々の活動における評価・工夫等をご家庭での支援で活かしていただけるよう、毎回しっかり振り返りながらメールや送迎時に保護者の方々に細かく報告をしています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>	お便りやガイドブックを作成してわかりやすくなるよう工夫しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>	半年に1度面談の機会を設けている他、電話やメール等のツールも利用して日常的にやり取りが可能な状況を作り、随時ご希望やご要望が確認できるようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>	必ず保護者に支援計画の内容をご確認いただき、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>	随時メールやお電話、送迎時、面談等の機会を通じて対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>	保護者会という形ではありませんが、フェスを開催しており、保護者同士の連携やお話する機会が取れる場にもなればと考えています。	保護者からの要望も少なく、現状そういった機会は設けていないこと。(必要性や需要の変化に応じて検討していければと考えています)
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>	できるだけ迅速かつ適切な対応を心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>	毎日のブログ更新、SNSでの情報発信、不定期での会報誌の発行などを行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>	個人資料は全て鍵付きの書庫に保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>	相手に合わせ、伝え方などの工夫をスタッフ間で共有し、意思の疎通や情報伝達の配慮に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>	フェス等のイベントを通じて、活動内容を披露したり、ブログ等を活用し、活動報告を行っています。	コロナ発生より、不特定多数との接触への配慮も必要となり、地域住民の招待等はなかなか出来ていない現状であること。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>	各種マニュアルは施設内で閲覧することが出来るよう整備しています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>	業務継続計画(BCP)を策定すると共に、防災カードを作成して各家庭に配布している他、年に2回以上の避難訓練の実施をしており、消防計画も立てています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>	契約時、半年に1度の面談時にフェイスシート等を使っての確認を行なっている他、変更等あった際にはご家族よりご連絡いただいで把握に努めております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>	アレルギーがある児童については、受け入れ時に書類も使って確認を行い、提供を控えています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>	安全計画を作成すると共に、送迎車には安全装置を取り付け、定期的に研修や避難訓練等を行い、交通安全の標語等を使っての意識付け等の工夫も随時行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>	避難訓練の実施時に保護者への参加も呼び掛けたり、訓練等の実施時の様子について報告を行なったりと、随時ご家族への情報発信を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>	日報やメール連絡網に記載し、ミーティング時に都度職員間で確認を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>	虐待防止研修を必須で受けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>	身体拘束を行なわなければならないケースについては、放課後等デイサービス計画にも記載をした上で、保護者にも了承を頂いています。		



事業所名		スタジオあいだっく川崎		公表日		2025年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		事業所の指定基準を十分上回るスペースの確保をさせていただいております。施設面積の3分の2以上を活動スペースとして確保し、目的別にスペースを区切り、より子供たちが活動しやすいようにレイアウトや棚・机の位置や形状にも配慮しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		事業の新基準にあわせた職員体制で対応しており、理学療法士等の専門スタッフや児童経験豊富なスタッフを配置し、専門性の高い療育や活動を提供できるように工夫しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		施設は1階に位置しており、施設内に段差もなく、バリアフリー化に対応しています。また支援員が、必要な個所で補助する形で配慮を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		業務終了後の清掃を欠かさず行って清潔を保ち、限られた空間の中で、目的別にスペースを区切り、より子供たちが活動しやすいようにレイアウトや棚・机の位置や形状にも配慮しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		大部屋とは別に面談室を準備しており、必要に応じて使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		計画・実行・評価・改善を基本に、ミーティング等を活用しながら日々業務改善を図っています。情報収集や拡散には、メールやプリントを活用し速やかに業務が遂行できるようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年保護者向けの評価表の配布・回収・集計・公表を行っており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		上記同様、毎年事業所向けの評価表をスタッフに配布し、回収・集計・公表を行っており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現状第三者による外部評価は行っていないが、更新時や同企業内他施設の実地調査で指摘された点等を参考に業務改善しています。	現状第三者による外部評価は行っていないこと。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		他施設と合流での不定期での大きな研修に加え、毎日の自施設内でのミーティングにて、基本的業務確認のみではなく、障害特性や児童とのかかわり方等、持続性があり効果的な方法で研修が行えるよう心掛けています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>	年度末までに公表できるよう準備を進めております。	現時点では公表出来ていないこと。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		子どもと保護者のニーズを参考に、必要な支援や活動の工夫を職員で話し合い、計画に反映させて作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者以外にも、児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者を中心に、複数のスタッフで話し合い、計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		スタッフ全員がいつでも再確認しやすいよう個別支援計画のみを五十音順にしてまとめたファイルを別途作成して保管しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		あいだっく独自のアセスメントシートを準備しています。また、専門スタッフが必要に応じて適切なツールを見極めて実施しています。	標準化されたアセスメントツール(WISC等)は行っていないこと。(学校や病院等で別途既に取っている児童も多いため)	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		専門スタッフを中心に、ミーティングや話し合いを行ないながら活動プログラムの立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		一人一人の課題に合わせて個別をメインにした活動を行っています。 定期的に新しい活動を提供しているほか、イベント等も行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別に得意なこと・苦手なこと等に合わせて計画を立案しており、内容も個別はもちろん、イベントや集団での活動も盛り込んだバラエティに富んだ楽しめる内容に出来るよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		支援前等、随時、情報共有・送迎確認等を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		勤務形態にもよりますが、スタッフ間での打合せや振り返りを随時行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日報や個人記録にて、児童の様子や支援内容を記録し、職員が参照できるようにしています。記録を用いて、支援の検証や改善も図っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		本人やご家族のニーズを取り入れながら、取り組み期間や目標を踏まえ、スタッフで話し合い、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>		運動活動や日常生活の充実、自立への支援等を中心に、集団活動であるサッカーとダンスを行っています。活動前後は工作活動など、個人で行える創作活動や遊び等の支援もできる環境を整える等、集団活動と個人活動の両方を行えるようバランスに配慮しています。	地域との交流については積極的に行なえていないこと。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		活動内容がダンスとサッカーの二つあり、複数日通っている児童に対してはダンス活動を行う日とサッカー活動を行う日に分け、選択できるようにしています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者が中心となって参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		直接主治医とやり取り出来ていない分、学校やご家族を通しての情報交換で体制を整えています。てんかん発作時のダイアップ等、医療行為が必要な場合については、医師の意見書を作成していただいています。また、医療連携を開始しています。	現状主治医との直接的なやり取りは行なっていないこと。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		お迎えが遅れる時などは必ず学校へ連絡しています。下校時間が急遽変更になった時や放課後活動で遅れる時には学校から直接連絡をいただいています。また、通常の下校時刻や月の行事予定等の情報は必ず保護者を通して把握するように学校から言われており、月間予定表や学年だよりを保護者様からご提供いただいています。	学校の月間予定表や学年だよりの発行が遅い時もあり、月初の下校時刻把握が難しい場合があること。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		当事業所と同様に(株)アイダックデザインが運営する相談支援事業を中心に、更なる情報共有に努めています。	現状は連携しておらず、情報提供等もないことが多いこと。(今後必要なケースがあれば積極的に行っていきます)
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		引き継ぎ事項については、ファイリングし引き継ぎやすくしていると共に、必要に応じてお電話等で様子についての情報共有等を行っています。	現状、必要に応じて行っており、全員について行えてはいないこと。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		研修会や連絡会、研修等にはできる限り代表者が出席できるように日程や勤務の調整を行っています。また、必要に応じて関係機関から助言をいただいております。	児童発達支援センターとの直接的・継続的な連携は行なえていないこと。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		屋外活動時等に障害のない児童と接する機会はありますが、交流はしておりません。外部に向けての情報発信や交流も視野に入れて、あいだっく全体でのイベントを開催しています。	現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的に交流や一緒に活動を行う機会を設けてはいないこと。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		都・区の説明会及びセミナー等へ積極的に参加できるよう調整しています。	自立支援協議会には参加できていないこと。

保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		情報交換には、送迎時の引継ぎや連絡帳、メール等を活用して都度行っています。保護者との個別面談も実施しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		日々の活動における評価・工夫等をご家庭での支援で活かしていただけるよう、毎回しっかり振り返りながらメールや送迎時に保護者の方々に細かく報告をしています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		お便りやガイドブックを作成してわかりやすくなるよう工夫しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		半年に1度面談の機会を設けている他、電話やメール等のツールも利用して日常的にやり取りが可能な状況を作り、随時ご希望やご要望が確認できるようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		必ず保護者に支援計画の内容をご確認いただき、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時メールやお電話、送迎時、面談等の機会を通じて対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○	○	保護者の会はございませんが、保護者の皆様にご参加いただけるイベントや講演等を行っております。	保護者からの要望も少なく、現状そういった機会は設けていないこと。(必要性や需要の変化に応じて検討していければと考えています)
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		できるだけ迅速かつ適切な対応を心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎日のブログ更新、SNSでの情報発信、不定期での会報誌の発行などを行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人資料は全て鍵付きの書庫に保管しています。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		相手に合わせ、伝え方などの工夫をスタッフ間で共有し、意思の疎通や情報伝達の配慮に努めています。		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○	イベントを通じて、活動内容を披露したり、ブログ等を活用し、活動報告を行っています。	コロナ発生より、不特定多数との接触への配慮も必要となり、地域住民の招待等はなかなか出来ていない現状であること。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは施設内で閲覧することが出来るよう整備しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定すると共に、防災カードを作成して各家庭に配布している他、年に2回以上の避難訓練の実施をしており、消防計画も立てています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時、半年に1度の面談時にフェイスシート等を使っての確認を行なっている他、変更等あった際にはご家族よりご連絡いただいて把握に努めております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがある児童については、受け入れ時に書類も使って確認を行い、提供を控えています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成すると共に、送迎車には安全装置を取り付け、定期的に研修や避難訓練等を行い、交通安全の標語等を使っての意識付け等の工夫も随時行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難訓練の実施時に保護者への参加も呼び掛けたり、訓練等の実施時の様子について報告を行ったりと、随時ご家族への情報発信を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日報やメール連絡網に記載し、ミーティング時に都度職員間で確認を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を必須で受けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を行なわなければならないケースについては、放課後等デイサービス計画にも記載をした上で、保護者にも了承を頂いています。	

事業所名	パソコンあいだっく川崎		公表日	2025年 3月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		事業の指定基準を十分上回るスペースの確保をさせていただいておりますが、さらに、家具の配置や折り畳み式の机、収納しやすい椅子などの工夫で、場面に合わせたスペースの確保を出来るようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		事業の指定新基準の職員配置で対応しております。また、言語聴覚士や保育士、パソコンに詳しいスタッフも配置し、専門性の高い療育、活動を提供出来るように工夫しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		当事業所は2階にあり、階段にスロープ等はございませんが非常用階段ではなく、住民の方が通常使用している一般的な階段になります。怪我をしている時や、装具を着けているお子さんの場合はエレベーターも使用できます。室内に段差等はございません。	※車いすの方の受け入れは行っておりませんので、予めご了承ください。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		生活空間内に空気清浄機を設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		大部屋とは別に面談室を準備しており、必要に応じて使用できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		計画・実行・評価・改善を基本に、ミーティング等を活用しながら日々業務改善を図っています。情報収集や拡散には、メールやプリントを活用し速やかに業務が遂行できるようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年保護者向けの評価表の配布・回収・集計・公表を行っており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		上記同様、毎年事業所向けの評価表をスタッフに配布し、回収・集計・公表を行っており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現状第三者による外部評価は行なっていませんが、更新時や同企業内他施設の実地調査で指摘された点等を参考に業務改善を行っています。	現状第三者による外部評価は行っていないこと。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		他施設と合流での不定期での大きな研修に加え、毎日の自施設内でのミーティングにて、基本的業務確認のみではなく、障害特性や児童とのかかわり方等、持続性があり効果的な方法で研修が行えるよう心掛けています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>	年度末までに公表出来るよう準備を進めております。	現時点ではまだ公表出来ていないこと。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		子どもと保護者のニーズを参考に、必要な支援や活動の工夫を職員で話し合い、計画に反映させて作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者以外にも、児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者を中心に、複数のスタッフで話し合い、計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		スタッフ全員がいつでも再確認しやすいよう個別支援計画のみを五十音順にしてまとめたファイルを別途作成して保管しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		あいだっく独自のアセスメントシートを準備しています。また、専門スタッフが必要に応じて適切なツールを見極めて実施しています。	標準化されたアセスメントツール(WISC等)は行っていないこと。(学校や病院等で別途既に取りっている児童も多いため)



適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		専門スタッフを中心に、ミーティングや話し合いを行ないながら活動プログラムの立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		一人一人の課題に合わせて個別をメインにした活動を行っています。定期的に新しい活動を提供しているほか、イベント等も行っていきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別に得意なこと・苦手なこと等に合わせた計画を立案しており、内容も個別はもちろん、イベントや集団での活動も盛り込んだバラエティに富んだ楽しめる内容に出来るよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前等、随時、情報共有・送迎確認等を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		勤務形態にもよりますが、スタッフ間での打合せや振り返りを随時行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日報や個人記録にて、児童の様子や支援内容を記録し、職員が参照できるようにしています。記録を用いて、支援の検証や改善も図っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		本人やご家族のニーズを取り入れながら、取り組み期間や目標を踏まえ、スタッフで話し合い、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		メインの時間帯は、日常生活の充実、自立への支援等はもちろん、創作活動を中心とした個別でのパソコン活動を行っていますが、後半の時間帯には全体活動の時間も確保しています。利用時間に合わせ、パソコン以外にも工作等から運動・遊びの要素を含めた活動まで、工夫して盛り込みながら支援を行っています。	地域との交流については積極的に行なっていないこと。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		複数の選択肢から作りたいものを選んでもらったり、クイズ形式の活動等を通して、選択・自己決定の機会を活動の中に取り入れています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者が中心となって参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		直接主治医とやり取り出来ていない分、学校やご家族を通しての情報交換で体制を整えています。てんかん発作時のダイアップ等、医療行為が必要な場合については、医師の意見書を作成していただいています。また、医療連携も検討中です。	現状主治医との直接的なやり取りは行なっていないこと。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		お迎えが遅れる時などは必ず学校へ連絡しています。下校時間が急遽変更になった時や放課後活動で遅れる時には学校から直接連絡をいただけますが、通常の下校時刻や月の行事予定等の情報は必ず保護者を通して把握するように学校から言われており、月間予定表や学年だよりを保護者様からご提供いただいています。	学校の月間予定表や学年だよりの発行が遅い時もあり、月初の下校時刻把握が難しい場合があること。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		当事業所と同様に(株)アイダックデザインが運営する相談支援事業を中心に、更なる情報共有に努めています。	現状は連携しておらず、情報提供等もないことが多いこと。(今後必要なケースがあれば積極的に行っていきます)
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	△		引き継ぎ事項については、ファイリングし引き継ぎやすくすると共に、必要に応じてお電話等で様子についての情報共有等を行っています。	現状、必要に応じて行っており、全員について行ってはいないこと。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	△		研修会や連絡会、研修等にはできる限り代表者が出席できるように日程や勤務の調整を行っています。また、必要に応じて関係機関から助言をいただいております。	全児童について児童発達支援センターとの連携はできていないこと。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		屋外活動時等に障害のない児童と接する機会はあるものの、交流は行なっていません。外部に向けての情報発信や交流も視野に入れて、あいだっく全体でのイベントを開催しています。	現状、ご希望等も多くないこともあり、積極的に交流や一緒に活動する機会を設けていないこと。	



	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>	都・区の説明会及びセミナー等へ積極的に参加できるよう調整しています。	自立支援協議会には参加できていないこと。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>	情報交換には、送迎時の引継ぎや連絡帳、メール等を活用して都度行っています。保護者との個別面談も実施しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>	日々の活動における評価・工夫等をご家庭での支援で活かしていただけるよう、毎回しっかり振り返りながらメールや送迎時に保護者の方々に細かく報告をしています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>	お便りやガイドブックを作成してわかりやすくなるよう工夫しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>	半年に1度面談の機会を設けている他、電話やメール等のツールも利用して日常的にやり取りが可能な状況を作り、随時ご希望やご要望が確認できるようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>	必ず保護者に支援計画の内容をご確認いただき、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>	随時メールやお電話、送迎時、面談等の機会を通じて対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>	保護者の会はございませんが、保護者の皆様にご参加いただけるイベントや講演等を行っております。	保護者からの要望も少なく、現状そういった機会は設けていないこと。(必要性や需要の変化に応じて検討していければと考えています)
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>	できるだけ迅速かつ適切な対応を心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>	毎日のブログ更新、SNSでの情報発信、不定期での会報誌の発行などを行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>	個人資料は全て鍵付きの書庫に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>	相手に合わせ、伝え方などの工夫をスタッフ間で共有し、意思の疎通や情報伝達の配慮に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>	イベントを通じて、活動内容を披露したり、ブログ等を活用し、活動報告を行っています。	コロナ発生より、不特定多数との接触への配慮も必要となり、地域住民の招待等はなかなか出来ない現状であること。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>	各種マニュアルは施設内で閲覧することが出来るよう整備しています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>	業務継続計画(BCP)を策定すると共に、防災カードを作成して各家庭に配布している他、年に2回以上の避難訓練の実施しており、消防計画も立てています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>	契約時、半年に1度の面談時にフェイスシート等を使っての確認を行なっている他、変更等あった際にはご家族よりご連絡いただいで把握に努めております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>	アレルギーがある児童については、受け入れ時に書類も使って確認を行い、提供を控えています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>	安全計画を作成すると共に、送迎車には安全装置を取り付け、定期的に研修や避難訓練等を行い、交通安全の標語等を使っての意識付け等の工夫も随時行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>	避難訓練の実施時に保護者への参加も呼び掛けたり、訓練等の実施時の様子について報告を行なったりと、随時ご家族への情報発信を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>	日報やメール連絡網に記載し、ミーティング時に都度職員間で確認を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>	虐待防止研修を必須で受けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>	身体拘束を行なわなければならないケースについては、放課後等デイサービス計画にも記載をした上で、保護者にも了承を頂いています。	

事業所名		サッカーあいだっく川崎		公表日		2025年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		基本的には、屋外のフットサルコートを借り、広いスペースで活動しております。雨の日活動や長期休暇中の室内でのイベント等の際は、施設内となりますが、収納スペースを上手く活用しながら、なるべく広く使えるように工夫しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		事業の新基準にあわせた職員体制で対応しており、活動に合わせ、作業療法士や保育士等の専門スタッフも配置し、専門性の高い療育、活動を提供出来るように工夫しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		施設は1Fに位置しており、細かな段差等、必要な箇所ではスタッフが補助する形で配慮を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		生活空間内に空気清浄機を2台設置し、部屋はもちろん、玄関からトイレまで毎日清掃・消毒を行なっています。空気清浄機や掃除機等の機器についても定期的に洗浄作業を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		大部屋とは別に面談室を準備しており、必要に応じて使用できるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		計画・実行・評価・改善を基本に、ミーティング等を活用しながら日々業務改善を図っています。情報収集や拡散には、メールやプリントを活用し速やかに業務が遂行できるようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年保護者向けの評価表の配布・回収・集計・公表を行なっており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		上記同様、毎年事業所向けの評価表をスタッフに配布し、回収・集計・公表を行なっており、内容についても把握し、業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		現状第三者による外部評価は行っていないが、同企業内他施設の実地調査や更新時の調査で指摘された点を参考に業務改善を行っています。	現状第三者による外部評価は行っていないこと。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		他施設と合流での不定期での大きな研修に加え、毎日の自施設内でのミーティングにて、基本的業務確認のみではなく、障害特性や児童とのかわり方等、持続性があり効果的な方法で研修が行えるよう心掛けています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		年度末までに公表が行なえるよう準備を進めています。	現時点では公表出来ていないこと。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		子どもと保護者のニーズを参考に、必要な支援や活動の工夫を職員で話し合い、計画に反映させて作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者以外にも、児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者を中心に、複数のスタッフで話し合い、計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		スタッフ全員がいつでも再確認しやすいよう個別支援計画のみを五十音順にしてまとめたファイルを別途作成して保管しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		あいだっく独自のアセスメントシートを準備しています。また、専門スタッフが必要に応じて適切なツールを見極めて実施しています。	標準化されたアセスメントツール(WISC等)は行っていないこと。(学校や病院等で別途既に取っている児童も多いため)	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		それぞれの児童についてスタッフで話し合い、必要性に応じて適切な項目を設定し、支援計画をたてています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		専門スタッフを中心に、ミーティングや話し合いを行ないながら活動プログラムの立案を行っています。		

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		児童の気持ちを考え、楽しく参加しながら、学んでいることを自然に身に付けられるよう、毎日、集団活動でのプログラムと個人の状態、状況を組み取りながら、児童にあった活動メニューを工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別に得意なこと・苦手なこと等に合わせた計画を立案しており、内容も個別はもちろん、イベントや集団での活動も盛り込んだバラエティに富んだ楽しめる内容に出来るよう工夫しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		支援前に打ち合わせを実施し、支援の分担や配慮事項等の確認を行なっています。送迎表、当日行うプログラム活動の内容、担当、チェック表等も活用してわかりやすく確認出来るように工夫しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		勤務形態にもよるが、スタッフ間での打合せや振り返りを随時行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日報や個人記録にて、児童の様子や支援内容を記録し、職員が参照できるようにしています。記録を用いて、支援の検証や改善も図っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		本人やご家族のニーズを取り入れながら、取り組み期間や目標を踏まえ、スタッフで話し合い、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>		サッカーでの運動活動や日常生活の充実、自立への支援等を中心に、自由時間や空き時間、長期休暇時のイベント等では遊びや創作活動等の要素も取り入れ、幅広く支援を行っています。	地域との交流については積極的に行なえていないこと。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		自分で試合やミニゲーム等での動きを考えたり、決めたり、それが難しい児童には個別にそれぞれの力に応じて選択肢を準備して選んでもらったり等、活動内で自己決定の機会を作るよう工夫しています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童との関わりも深く、長く、性格や特性をより把握している者が中心となって参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		直接主治医とやり取り出来ていない分、学校やご家族を通しての情報交換で体制を整えています。てんかん発作時のダイアップ等、医療行為が必要な場合については、医師の意見書を作成していただいています。また、医療連携についても検討中です。	現状主治医との直接的なやり取りは行なえていないこと。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		お迎えが遅れる時などは必ず学校へ連絡しています。下校時間が急遽変更になった時や放課後活動で遅れる時には学校から直接連絡をいただけますが、通常の下校時刻や月の行事予定等の情報は必ず保護者を通して把握するように学校から言われており、月間予定表や学年日より保護者様からご提供いただいています。	学校から下校時刻や送迎対応、行事予定等の情報共有は保護者から行うように言われることや、学校の月間予定表や学年だよりの発行が遅い時もあり、月初の下校時刻把握が難しい場合があること。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		当事業所と同様に(株)アイダックデザインが運営する相談支援事業を中心に、更なる情報共有に努めています。	学校は関係者（保護者）以外との情報共有に対して慎重な傾向があり、学校での様子についての情報共有が難しい場合が多いこと。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		引き継ぎ事項については、ファイリングし引き継ぎやすくすると共に、必要に応じてお電話等で様子についての情報共有等を行っています。	現状、必要に応じて行っており、全員について行えてはいないこと。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		研修会や連絡会、研修等にはできる限り代表者が出席できるように日程や勤務の調整を行っています。また、必要に応じて関係機関から助言をいただいております。	児童発達支援センターとの直接的・継続的な連携は行なえていないこと。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		屋外活動時等に障害のない児童と接する機会はありますが、交流はしておりません。外部に向けての情報発信や交流も視野に入れ、あいだく全体のイベント開催をしています。	現状、ご希望も多くないこともあり、積極的に交流や一緒に活動を行う機会を設けてはいないこと。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		都・区の説明会及びセミナー等へ積極的に参加できるよう調整しています。	自立支援協議会には参加できていないこと。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		情報交換には、送迎時の引継ぎや連絡帳、メール等を活用して都度行っています。また、定期的に同企業内他施設とのサッカーの試合を行い、保護者にも観戦してもらい情報交換を行っています。保護者との個別面談も実施しています。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		日々の活動においての評価・工夫等をご家庭での支援で活かしていただけるよう、毎回しっかり振り返りながらメールや送迎時に保護者の方々に細かく報告をしています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		お便りやガイドブックを作成してわかりやすくなるよう工夫しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		半年に1度面談の機会を設けている他、電話やメール等のツールも利用して日常的にやり取りが可能な状況を作り、随時ご希望やご要望が確認できるようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		必ず保護者に支援計画の内容をご確認いただき、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		随時メールやお電話、送迎時、面談等の機会を通じて対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		保護者会という形ではありませんが、保護者がイベントなどで児童の成長を見られる場を、少しずつ作ることはできており、その際に保護者同士の連携やお話する機会にもなればと考えています。	保護者からの要望も少なく、現状そういった機会は設けていないこと。(必要性や需要の変化に応じて検討していければと考えています)
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		できるだけ迅速かつ適切な対応を心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		毎日のブログ更新、SNSでの情報発信、不定期での会報誌の発行などを行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人資料は全て鍵付きの書庫に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		相手に合わせ、伝え方などの工夫をスタッフ間で共有し、意思の疎通や情報伝達の配慮に努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		サッカーの試合等のイベントを通じて、活動内容を披露したり、ブログ等を活用し、活動報告を行っています。	コロナ発生より、不特定多数との接触への配慮も必要となり、地域住民の招待等はなかなか出来ない現状であること。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		各種マニュアルは施設内で閲覧することが出来るよう整備しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		業務継続計画（BCP）を策定すると共に、防災カードを作成して各家庭に配布している他、年に2回以上の避難訓練の実施をしており、消防計画も立てています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		契約時、半年に1度の面談時にフェイスシート等を使っての確認を行なっている他、変更等あった際にはご家族よりご連絡いただいで把握に努めております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		アレルギーがある児童については、受け入れ時に書類も使って確認を行い、提供を控えています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画を作成すると共に、送迎車には安全装置を取り付け、定期的に研修や避難訓練等を行い、交通安全の標語等を使っての意識付け等の工夫も随時行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		避難訓練の実施時に保護者への参加も呼び掛けたり、訓練等の実施時の様子について報告を行なったりと、随時ご家族への情報発信を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		日報やメール連絡網に記載し、ミーティング時に都度職員間で確認を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		虐待防止研修を必須で受けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		身体拘束を行わなければならないケースについては、放課後等デイサービス計画にも記載をした上で、保護者にも了承を頂いています。	



公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アトリエあいだっく中野新橋		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スキルと自信を育む多様な創作体験の提供	各児童の個性や興味に応じた個別の創作活動を通じて、手先の器用さや創造力を養うと共に、季節に応じたイベントやアート活動も提供しており、子どもたちがさまざまな創作体験を通じて成長できる環境を整えています。また、コンテストへの応募や展示会の開催をすることで、成果の発表の場を確保、自信を持たせ、達成感を得る機会にもしています。	プログラムの内容や形式を定期的に見直し、新しいトレンドや技術を取り入れることで、常に新鮮で効果的な活動を提供できるようにしていくと共に、利用児童やご家族からのご意見や要望を活用して、プログラムの改善点を見つけていきます。
2	専門的なスタッフのサポート	理学療法士や児童発達支援管理責任者などの専門スタッフが在籍し、子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた支援、質の高いサポートが行えるよう環境を整えています。	利用児童やご家庭からのご意見やご要望といったフィードバックを収集・活用し、それをもとにスタッフの支援方法やアプローチを随時改善していくことで、さらなる支援の質の向上を目指して行きます。
3	丁寧なコミュニケーションと報告	毎回利用時にはメールにて児童の様子を報告し、送迎時には直接保護者とお会いしてお話しています。半年に1度全体に向けた面談の機会も設けている他、希望があればいつでも面談が可能となっており、連絡ツールとして電話以外にメールも使う事で、連絡や相談等のやり取りもしやすいよう体制を整えています。	さらに便利で有益な情報共有を実現するため、報告内容やコミュニケーションの形式を多様化し、保護者がより簡単にアクセスできるようにする(例:アプリの導入やオンラインプラットフォームの活用等)工夫も考えていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域コミュニティとの関係	児童の障害特性上の児童への影響や安全性の確保に加え、感染症予防等への配慮もあり、地域イベントへの参加や不特定多数の地域の方を招くようなイベントを積極的に行えておりません。	児童の安全や感染予防を考えた上で、オンラインや小規模で安全性を確保しながらの関りや、可能な地域貢献プログラムの導入、積極的に情報発信で地域との情報共有を深め、児童の障害特性への理解を促す等の工夫を考え、地域コミュニティとの関係構築を目指していきたいと思います。
2	保護者会等の開催がない	年度末に展示会を設けることで、児童の成長を感じてもらおうと共にスタッフや児童、保護者同士での交流にも繋がるよう工夫しているものの、半年に1回の面談に加え、学校や他施設でも行事や面談等があることを考慮すると、働いている保護者にとって仕事を休んで時間を取る負担が大きくなるため、要望も少ないことから、現時点では定期的な保護者会は実施しておりません。	保護者が積極的に参加しそうな親子参加型のイベントの機会を設けたり、SNSグループや専用のフォーラムやチャット等のオンラインコミュニティを利用した保護者への負担が少ない支援の工夫を考えたりしていきたいと思っています。
3			



公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アトリエあいだっく新中野		
○保護者評価実施期間	2024年11月25日		～ 2024年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2024年11月25日		～ 2024年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個性を伸ばす多彩なアート活動の提供	多種多様な画材や創作プログラムを提供し、利用者の興味やニーズに応じた対応を行うことで、子どもたちが興味を持ち続け、自由に表現を楽しむ中で成長していけるよう環境を整えています。	プログラムの内容や形式を定期的に見直し、新しいトレンドや技術を取り入れることで、常に新鮮で効果的な活動を提供できるようにしていくと共に、利用児童やご家族からのご意見や要望を活用して、プログラムの改善点を見つけていきます。
2	専門的なスタッフのサポート	作業療法士や児童発達支援管理責任者などの専門スタッフが在籍し、子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた支援、質の高いサポートが行えるよう環境を整えています。	利用児童やご家庭からのご意見やご要望といったフィードバックを収集・活用し、それをもとにスタッフの支援方法やアプローチを随時改善していくことで、さらなる支援の質の向上を目指して行きます。
3	丁寧なコミュニケーションと報告	毎回利用時にはメールにて児童の様子を報告し、送迎時には直接保護者とお会いしてお話しています。半年に1度全体に向けた面談の機会も設けている他、希望があればいつでも面談が可能となっており、連絡ツールとして電話以外にメールも使う事で、連絡や相談等のやり取りもしやすいよう体制を整えています。	さらに便利で有益な情報共有を実現するため、報告内容やコミュニケーションの形式を多様化し、保護者がより簡単にアクセスできるようにする(例:アプリの導入やオンラインプラットフォームの活用等)工夫も考えていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域コミュニティとの関係	児童の障害特性上の児童への影響や安全性の確保に加え、感染症予防等への配慮もあり、地域イベントへの参加や不特定多数の地域の方を招くようなイベントを積極的に行っていません。	児童の安全や感染予防を考えた上で、オンラインや小規模で安全性を確保しながらの関りや、可能な地域貢献プログラムの導入、積極的に情報発信で地域との情報共有を深め、児童の障害特性への理解を促す等の工夫を考え、地域コミュニティとの関係構築を目指していきたいと思えます。
2	保護者会等の開催がない	半年に1回の面談に加え、学校や他施設でも行事や面談等があることを考慮すると、働いている保護者にとって仕事を休んで時間を取る負担が大きくなるため、要望も少ないことから、現時点では定期的な保護者会は実施していません。	保護者が積極的に参加したくなるような親子参加型のイベントの機会を設けたり、SNSグループや専用のフォーラムやチャット等のオンラインコミュニティを利用した保護者への負担が少ない支援の工夫を考えたりしていきたいと思えます。
3			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スタジオあいだっく		
○保護者評価実施期間	2024年11月25日		～ 2024年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2024年11月25日		～ 2024年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽を通じた創造性と自信の育成	楽器演奏や歌唱、CUPSやダンスなど、音楽を使った多彩なプログラムの提供で児童の創造性や協調性を育み、マーカータンポリンを使ってのバランス感覚や体幹へのアプローチも行っています。楽しみながら成長出来る環境を整えと共に、成果を発表するフェスを開催することで、自信を持たせ、達成感を得る機会も設けています。	プログラムの内容や形式を定期的に見直し、新しいトレンドや技術を取り入れることで、常に新鮮で効果的な活動を提供できるようにしていくと共に、利用児童やご家族からのご意見や要望を活用して、プログラムの改善点を見つけていきます。
2	専門的なスタッフのサポート	言語聴覚士や理学療法士、児童発達支援管理責任者などの専門スタッフが在籍し、セラピスト活動なども実施しながら、子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた支援、質の高いサポートが行えるよう環境を整えています。	利用児童やご家庭からのご意見やご要望といったフィードバックを収集・活用し、それをもとにスタッフの支援方法やアプローチを随時改善していくことで、さらなる支援の質の向上を目指して行きます。
3	丁寧なコミュニケーションと報告	毎回利用時にはメールにて児童の様子を報告し、送迎時には直接保護者とお会いしてお話しています。半年に1度全体に向けた面談の機会も設けている他、希望があればいつでも面談が可能となっており、連絡ツールとして電話以外にメールも使う事で、連絡や相談等のやり取りもしやすいよう体制を整えています。	さらに便利で有益な情報共有を実現するため、報告内容やコミュニケーションの形式を多様化し、保護者がより簡単にアクセスできるようにする(例:アプリの導入やオンラインプラットフォームの活用等)工夫も考えていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域コミュニティとの関係	児童の障害特性上の児童への影響や安全性の確保に加え、感染症予防等への配慮もあり、地域イベントへの参加や不特定多数の地域の方を招くようなイベントを積極的に行っていません。	児童の安全や感染予防を考えた上で、オンラインや小規模で安全性を確保しながらの関りや、可能な地域貢献プログラムの導入、積極的に情報発信で地域との情報共有を深め、児童の障害特性への理解を促す等の工夫を考え、地域コミュニティとの関係構築を目指していきたいと思えます。
2	保護者会等の開催がない	年度末にフェスを開催することで、児童の成長を感じてもらおうと共にスタッフや児童、保護者同士での交流にも繋がるよう工夫しているものの、半年に1回の面談に加え、学校や他施設でも行事や面談等があることを考慮すると、働いている保護者にとって仕事を休んで時間を取る負担が大きくなるため、要望も少ないことから、現時点では定期的な保護者会は実施していません。	保護者が積極的に参加したくなるような親子参加型のイベントの機会を設けたり、SNSグループや専用のフォーラムやチャット等のオンラインコミュニティを利用した保護者への負担が少ない支援の工夫を考えたりしていきたいと思えます。
3			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	パソコンあいだっく		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 25日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	デジタルスキルの育成とサポート	幅広いデジタルツールやソフトウェアを活用して、児童の興味や能力に応じた多様なスキルを個々のペースで楽しく習得できる環境を整えています。	プログラムの内容や形式を定期的に見直し、新しいトレンドや技術を取り入れることで、常に新鮮で効果的な活動を提供できるようにしていくと共に、利用児童やご家族からのご意見や要望を活用して、プログラムの改善点を見つけていきます。
2	専門的なスタッフのサポート	作業療法士や児童発達支援管理責任者などの専門スタッフが在籍し、子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた支援、質の高いサポートが行えるよう環境を整えています。	利用児童やご家庭からのご意見やご要望といったフィードバックを収集・活用し、それをもとにスタッフの支援方法やアプローチを随時改善していくことで、さらなる支援の質の向上を目指して行きます。
3	丁寧なコミュニケーションと報告	毎回利用時にはメールにて児童の様子を報告し、送迎時には直接保護者とお会いしてお話しています。半年に1度全体に向けた面談の機会も設けている他、希望があればいつでも面談が可能となっており、連絡ツールとして電話以外にメールも使う事で、連絡や相談等のやり取りもしやすいよう体制を整えています。	さらに便利で有益な情報共有を実現するため、報告内容やコミュニケーションの形式を多様化し、保護者がより簡単にアクセスできるようにする(例: アプリの導入やオンラインプラットフォームの活用等) 工夫も考えていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域コミュニティとの関係	児童の障害特性上の児童への影響や安全性の確保に加え、感染症予防等への配慮もあり、地域イベントへの参加や不特定多数の地域の方を招くようなイベントを積極的に行っていません。	児童の安全や感染予防を考えた上で、オンラインや小規模で安全性を確保しながらの関りや、可能な地域貢献プログラムの導入、積極的に情報発信で地域との情報共有を深め、児童の障害特性への理解を促す等の工夫を考え、地域コミュニティとの関係構築を目指していきたいと思えます。
2	保護者会等の開催がない	半年に1回の面談に加え、学校や他施設でも行事や面談等があることを考慮すると、働いている保護者にとって仕事を休んで時間を取る負担が大きくなるため、要望も少ないことから、現時点では定期的な保護者会は実施していません。	保護者が積極的に参加したくなるような親子参加型のイベントの機会を設けたり、SNSグループや専用のフォーラムやチャット等のオンラインコミュニティを利用した保護者への負担が少ない支援の工夫を考えたりしていきたいと思えます。
3			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サッカーあいだっく		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スポーツを通じた協調性と自信の育成	各児童のスキルや体力に応じたトレーニングプログラムを提供し、自分のペースでのスキルの向上を促すと共に、グループでの活動や練習も重ねることで、スポーツを楽しみながら社会性を学び、サッカーを通して協調性やチームワークを育みます。	プログラムの内容や形式を定期的に見直し、新しいトレンドや技術を取り入れることで、常に新鮮で効果的な活動を提供できるようにしていくと共に、利用児童やご家族からのご意見や要望を活用して、プログラムの改善点を見つけていきます。
2	専門的なスタッフのサポート	理学療法士や児童発達支援管理責任者などの専門スタッフが在籍し、子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた支援、質の高いサポートが行えるよう環境を整えています。	利用児童やご家庭からのご意見やご要望といったフィードバックを収集・活用し、それをもとにスタッフの支援方法やアプローチを随時改善していくことで、さらなる支援の質の向上を目指して行きます。
3	丁寧なコミュニケーションと報告	毎回利用時にはメールにて児童の様子を報告し、送迎時には直接保護者とお会いしてお話しています。半年に1度全体に向けた面談の機会も設けている他、希望があればいつでも面談が可能となっており、連絡ツールとして電話以外にメールも使う事で、連絡や相談等のやり取りもしやすいよう体制を整えています。	さらに便利で有益な情報共有を実現するため、報告内容やコミュニケーションの形式を多様化し、保護者がより簡単にアクセスできるようにする(例:アプリの導入やオンラインプラットフォームの活用等)工夫も考えていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域コミュニティとの関係	児童の障害特性上の児童への影響や安全性の確保に加え、感染症予防等への配慮もあり、地域イベントへの参加や不特定多数の地域の方を招くようなイベントを積極的に行っていません。	児童の安全や感染予防を考えた上で、オンラインや小規模で安全性を確保しながらの関りや、可能な地域貢献プログラムの導入、積極的に情報発信で地域との情報共有を深め、児童の障害特性への理解を促す等の工夫を考え、地域コミュニティとの関係構築を目指していきたいと思えます。
2	保護者会等の開催がない	半年に1回の面談に加え、学校や他施設でも行事や面談等があることを考慮すると、働いている保護者にとって仕事を休んで時間を取る負担が大きくなるため、要望も少ないことから、現時点では定期的な保護者会は実施していません。	保護者が積極的に参加しやすくなるような親子参加型のイベントの機会を設けたり、SNSグループや専用のフォーラムやチャット等のオンラインコミュニティを利用した保護者への負担が少ない支援の工夫を考えたりしていきたいと思えます。
3			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	渋谷あいだっく		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	曜日ごとの多種多様な活動の提供	パソコン・アート・音楽と、様々な種類の活動を曜日別に提供することで、個々の児童の興味や特性に合わせた活動選択が可能となっており、自己表現力が高まります。また、音楽活動では、成果を発表するあいだっくフェスタを開催することで、自信を持たせ、達成感を得る機会を設けます。	プログラムの内容や形式を定期的に見直し、新しいトレンドや技術を取り入れることで、常に新鮮で効果的な活動を提供できるようにしていくと共に、利用児童やご家族からのご意見や要望を活用して、プログラムの改善点を見つけていきます。
2	専門的なスタッフのサポート	理学療法士や児童発達支援管理責任者などの専門スタッフが在籍し、子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた支援、質の高いサポートが行えるよう環境を整えています。	利用児童やご家庭からのご意見やご要望といったフィードバックを収集・活用し、それをもとにスタッフの支援方法やアプローチを随時改善していくことで、さらなる支援の質の向上を目指して行きます。
3	丁寧なコミュニケーションと報告	毎回利用時にはメールにて児童の様子を報告し、送迎時には直接保護者とお会いしてお話しています。半年に1度全体に向けた面談の機会も設けている他、希望があればいつでも面談が可能となっており、連絡ツールとして電話以外にメールも使う事で、連絡や相談等のやり取りもしやすいよう体制を整えています。	さらに便利で有益な情報共有を実現するため、報告内容やコミュニケーションの形式を多様化し、保護者がより簡単にアクセスできるようにする(例:アプリの導入やオンラインプラットフォームの活用等)工夫も考えていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域コミュニティとの関係	児童の障害特性上の児童への影響や安全性の確保に加え、感染症予防等への配慮もあり、地域イベントへの参加や不特定多数の地域の方を招くようなイベントを積極的に行っておりません。	児童の安全や感染予防を考えた上で、オンラインや小規模で安全性を確保しながらの関りや、可能な地域貢献プログラムの導入、積極的に情報発信で地域との情報共有を深め、児童の障害特性への理解を促す等の工夫を考え、地域コミュニティとの関係構築を目指していきたいと思えます。
2	保護者会等の開催がない	年度末にフェスを開催することで、児童の成長を感じてもらおうと共にスタッフや児童、保護者同士での交流にも繋がるよう工夫しているものの、半年に1回の面談に加え、学校や他施設でも行事や面談等があることを考慮すると、働いている保護者にとって仕事を休んで時間を取る負担が大きくなるため、要望も少ないことから、現時点では定期的な保護者会は実施しておりません。	保護者が積極的に参加したくなるような親子参加型のイベントの機会を設けたり、SNSグループや専用のフォーラムやチャット等のオンラインコミュニティを利用した保護者への負担が少ない支援の工夫を考えたりしていきたいと思えます。
3			



公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ブロックあいだっく		
○保護者評価実施期間	2024年11月25日		～ 2024年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	さまざまな材料、道具を使った創造的な工作活動	さまざまな材料、道具を使った工作活動を通じて、児童が自分のアイデアを具体化するための実践的なスキルを身につけ、創造力、計画性、問題解決能力を育みます。	プログラムの内容や形式を定期的に見直し、新しいトレンドや技術を取り入れることで、常に新鮮で効果的な活動を提供できるようにしていくと共に、利用児童やご家族からのご意見や要望を活用して、プログラムの改善点を見つけていきます。
2	専門的なスタッフのサポート	作業療法士や児童発達支援管理責任者などの専門スタッフが在籍し、子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた支援、質の高いサポートが行えるよう環境を整えています。	利用児童やご家庭からのご意見やご要望といったフィードバックを収集・活用し、それをもとにスタッフの支援方法やアプローチを随時改善していくことで、さらなる支援の質の向上を目指して行きます。
3	丁寧なコミュニケーションと報告	毎回利用時にはメールにて児童の様子を報告し、送迎時には直接保護者とお会いしてお話しています。半年に1度全体に向けた面談の機会も設けている他、希望があればいつでも面談が可能となっており、連絡ツールとして電話以外にメールも使う事で、連絡や相談等のやり取りもしやすいよう体制を整えています。	さらに便利で有益な情報共有を実現するため、報告内容やコミュニケーションの形式を多様化し、保護者がより簡単にアクセスできるようにする(例: アプリの導入やオンラインプラットフォームの活用等) 工夫も考えていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域コミュニティとの関係	児童の障害特性上の児童への影響や安全性の確保に加え、感染症予防等への配慮もあり、地域イベントへの参加や不特定多数の地域の方を招くようなイベントは積極的に行えておりません。	児童の安全や感染予防を考えた上で、オンラインや小規模で安全性を確保しながらの関りや、可能な地域貢献プログラムの導入、積極的に情報発信で地域との情報共有を深め、児童の障害特性への理解を促す等の工夫を考え、地域コミュニティとの関係構築を目指していきたいと思えます。
2	保護者会等の開催がない	半年に1回の面談に加え、学校や他施設でも行事や面談等があることを考慮すると、働いている保護者にとって仕事を休んで時間を取る負担が大きくなるため、要望も少ないことから、現時点では定期的な保護者会は実施しておりません。	保護者が積極的に参加したくなるような親子参加型のイベントの機会を設けたり、SNSグループや専用のフォーラムやチャット等のオンラインコミュニティを利用した保護者への負担が少ない支援の工夫を考えたりしていきたいと思えます。
3			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アトリエあいだっく川崎		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2025年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2025年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アートや工作を通じた多彩な活動の提供	絵画や工作などのアート活動を多様に取り入れ、児童が様々な表現方法を試せる環境を整えると共に、各児童の興味や関心に合わせたアート・工作プログラムを提供し、個別の興味を生かした活動を行う事で、児童が主体的に取り組む姿勢を育てています。	プログラムの内容や形式を定期的に見直し、新しいトレンドや技術を取り入れることで、常に新鮮で効果的な活動を提供できるようにしていくと共に、利用児童やご家族からのご意見や要望を活用して、プログラムの改善点を見つけていきます。
2	専門的なスタッフのサポート	作業療法士や児童発達支援管理責任者などの専門スタッフが在籍し、子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた支援、質の高いサポートが行えるよう環境を整えています。	利用児童やご家庭からのご意見やご要望といったフィードバックを収集・活用し、それをもとにスタッフの支援方法やアプローチを随時改善していくことで、さらなる支援の質の向上を目指して行きます。
3	丁寧なコミュニケーションと報告	毎回利用時にはメールにて児童の様子を報告し、送迎時には直接保護者とお会いしてお話しています。半年に1度全体に向けた面談の機会も設けている他、希望があればいつでも面談が可能となっており、連絡ツールとして電話以外にメールも使う事で、連絡や相談等のやり取りもしやすいよう体制を整えています。	さらに便利で有益な情報共有を実現するため、報告内容やコミュニケーションの形式を多様化し、保護者がより簡単にアクセスできるようにする(例: アプリの導入やオンラインプラットフォームの活用等) 工夫も考えていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域コミュニティとの関係	児童の障害特性上の児童への影響や安全性の確保に加え、感染症予防等への配慮もあり、地域イベントへの参加や不特定多数の地域の方を招くようなイベントは積極的に行えておりません。	児童の安全や感染予防を考えた上で、オンラインや小規模で安全性を確保しながらの関りや、可能な地域貢献プログラムの導入、積極的に情報発信で地域との情報共有を深め、児童の障害特性への理解を促す等の工夫を考え、地域コミュニティとの関係構築を目指していきたいと思えます。
2	保護者会等の開催がない	半年に1回の面談に加え、学校や他施設でも行事や面談等があることを考慮すると、働いている保護者にとって仕事を休んで時間を取る負担が大きくなるため、要望も少ないことから、現時点では定期的な保護者会は実施しておりません。	保護者が積極的に参加したくなるような親子参加型のイベントの機会を設けたり、SNSグループや専用のフォーラムやチャット等のオンラインコミュニティを利用した保護者への負担が少ない支援の工夫を考えたりしていきたいと思えます。
3			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スタジオあいだっく川崎		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2025年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2025年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多彩な身体活動を通じた協調性と体力の育成	サッカーやダンスといった身体を使った活動で、児童が楽しみながら体力を向上させ、チームワークや協調性を自然に学び、音楽やリズム活動で感性を育み、身体活動と合わせて、心と体のバランスの取れた成長をしていけるようサポートしています。	プログラムの内容や形式を定期的に見直し、新しいトレンドや技術を取り入れることで、常に新鮮で効果的な活動を提供できるようにしていくと共に、利用児童やご家族からのご意見や要望を活用して、プログラムの改善点を見つけていきます。
2	専門的なスタッフのサポート	作業療法士や理学療法士、児童発達支援管理責任者などの専門スタッフが在籍し、子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた支援、質の高いサポートが行えるよう環境を整えています。	利用児童やご家庭からのご意見やご要望といったフィードバックを収集・活用し、それをもとにスタッフの支援方法やアプローチを随時改善していくことで、さらなる支援の質の向上を目指して行きます。
3	丁寧なコミュニケーションと報告	毎回利用時にはメールにて児童の様子を報告し、送迎時には直接保護者とお会いしてお話しています。半年に1度全体に向けた面談の機会も設けている他、希望があればいつでも面談が可能となっており、連絡ツールとして電話以外にメールも使う事で、連絡や相談等のやり取りもしやすいよう体制を整えています。	さらに便利で有益な情報共有を実現するため、報告内容やコミュニケーションの形式を多様化し、保護者がより簡単にアクセスできるようにする(例: アプリの導入やオンラインプラットフォームの活用等) 工夫も考えていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域コミュニティとの関係	児童の障害特性上の児童への影響や安全性の確保に加え、感染症予防等への配慮もあり、地域イベントへの参加や不特定多数の地域の方を招くようなイベントは積極的に行えておりません。	児童の安全や感染予防を考えた上で、オンラインや小規模で安全性を確保しながらの関りや、可能な地域貢献プログラムの導入、積極的に情報発信で地域との情報共有を深め、児童の障害特性への理解を促す等の工夫を考え、地域コミュニティとの関係構築を目指していきたいと思います。
2	保護者会等の開催がない	半年に1回の面談に加え、学校や他施設でも行事や面談等があることを考慮すると、働いている保護者にとって仕事を休んで時間を取る負担が大きくなるため、要望も少ないことから、現時点では定期的な保護者会は実施しておりません。	保護者が積極的に参加したくなるような親子参加型のイベントの機会を設けたり、SNSグループや専用のフォーラムやチャット等のオンラインコミュニティを利用した保護者への負担が少ない支援の工夫を考えたりしていきたいと思います。
3			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	パソコンあいだっく川崎		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2025年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2025年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様なパソコン活動を通じて創造性を育む環境	オリジナルプリントやグッズ作成体験等を通じて、楽しみながらパソコンスキルの習得や創造力・自己表現力の向上を促しています。また、ポイントシステムを導入し、達成感を得られるような工夫を行っています。	プログラムの内容や形式を定期的に見直し、新しいトレンドや技術を取り入れることで、常に新鮮で効果的な活動を提供できるようにしていくと共に、利用児童やご家族からのご意見や要望を活用して、プログラムの改善点を見つけていきます。
2	専門的なスタッフのサポート	言語聴覚士や児童発達支援管理責任者などの専門スタッフが在籍し、子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた支援、質の高いサポートが行えるよう環境を整えています。	利用児童やご家庭からのご意見やご要望といったフィードバックを収集・活用し、それをもとにスタッフの支援方法やアプローチを随時改善していくことで、さらなる支援の質の向上を目指して行きます。
3	丁寧なコミュニケーションと報告	毎回利用時にはメールにて児童の様子を報告し、送迎時には直接保護者とお会いしてお話しています。半年に1度全体に向けた面談の機会も設けている他、希望があればいつでも面談が可能となっており、連絡ツールとして電話以外にメールも使う事で、連絡や相談等のやり取りもしやすいよう体制を整えています。	さらに便利で有益な情報共有を実現するため、報告内容やコミュニケーションの形式を多様化し、保護者がより簡単にアクセスできるようにする(例:アプリの導入やオンラインプラットフォームの活用等)工夫も考えていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域コミュニティとの関係	児童の障害特性上の児童への影響や安全性の確保に加え、感染症予防等への配慮もあり、地域イベントへの参加や不特定多数の地域の方を招くようなイベントは積極的に行っておりません。	児童の安全や感染予防を考えた上で、オンラインや小規模で安全性を確保しながらの関りや、可能な地域貢献プログラムの導入、積極的に情報発信で地域との情報共有を深め、児童の障害特性への理解を促す等の工夫を考え、地域コミュニティとの関係構築を目指していきたいと思えます。
2	保護者会等の開催がない	半年に1回の面談に加え、学校や他施設でも行事や面談等があることを考慮すると、働いている保護者にとって仕事を休んで時間を取る負担が大きくなるため、要望も少ないことから、現時点では定期的な保護者会は実施しておりません。	保護者が積極的に参加したくなるような親子参加型のイベントの機会を設けたり、SNSグループや専用のフォーラムやチャット等のオンラインコミュニティを利用した保護者への負担が少ない支援の工夫を考えたりしていきたいと思えます。
3			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	サッカーあいだっく川崎		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2025年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2025年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	サッカーを通じた体力と協調性の向上	サッカー活動の際には、安全を最優先に考え、適切な用具と見守りの下、屋外のフットサルコートを借りて活動を行っています。サッカーの練習や試合を通じて、体力を養い、チームワークやコミュニケーション能力を楽しく育ていけるよう環境を整えています。	プログラムの内容や形式を定期的に見直し、新しいトレンドや技術を取り入れることで、常に新鮮で効果的な活動を提供できるようにしていくと共に、利用児童やご家族からのご意見や要望を活用して、プログラムの改善点を見つけていきます。
2	専門的なスタッフのサポート	作業療法士や児童発達支援管理責任者などの専門スタッフが在籍し、子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた支援、質の高いサポートが行えるよう環境を整えています。	利用児童やご家庭からのご意見やご要望といったフィードバックを収集・活用し、それをもとにスタッフの支援方法やアプローチを随時改善していくことで、さらなる支援の質の向上を目指して行きます。
3	丁寧なコミュニケーションと報告	毎回利用時にはメールにて児童の様子を報告し、送迎時には直接保護者とお会いしてお話しています。半年に1度全体に向けた面談の機会も設けている他、希望があればいつでも面談が可能となっており、連絡ツールとして電話以外にメールも使う事で、連絡や相談等のやり取りもしやすいよう体制を整えています。	さらに便利で有益な情報共有を実現するため、報告内容やコミュニケーションの形式を多様化し、保護者がより簡単にアクセスできるようにする(例: アプリの導入やオンラインプラットフォームの活用等) 工夫も考えていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域コミュニティとの関係	児童の障害特性上の児童への影響や安全性の確保に加え、感染症予防等への配慮もあり、地域イベントへの参加や不特定多数の地域の方を招くようなイベントは積極的に行っていません。	児童の安全や感染予防を考えた上で、オンラインや小規模で安全性を確保しながらの関りや、可能な地域貢献プログラムの導入、積極的に情報発信で地域との情報共有を深め、児童の障害特性への理解を促す等の工夫を考え、地域コミュニティとの関係構築を目指していきたいと思えます。
2	保護者会等の開催がない	半年に1回の面談に加え、学校や他施設でも行事や面談等があることを考慮すると、働いている保護者にとって仕事を休んで時間を取る負担が大きくなるため、要望も少ないことから、現時点では定期的な保護者会は実施していません。	保護者が積極的に参加したくなるような親子参加型のイベントの機会を設けたり、SNSグループや専用のフォーラムやチャット等のオンラインコミュニティを利用した保護者への負担が少ない支援の工夫を考えたりしていきたいと思えます。
3			